事務事業名

令和6年奥能登豪雨支援事業(置き畳)

会計区分	一般会計					
款項目コード(款-項-目)	05	02				
所属課名	農業振興課					

主要な施策の成果(決算審査における主要施策)

(単位:千円)

事務事業の概要

令和6年9月21日~23日にかけての豪雨により能登半島(奥能登)に再び甚大な被害が発生し、石川県珠洲市より置き畳の支援の要請があったことから、再度氷川町と連携し、八代地域農業協同組合の協力のもと、置き畳約1,000枚の支援を行う。

(参考)八代市及び氷川町の支援枚数

八代市 648枚 氷川町 360枚 合計 1,008枚

令和6年度予算額	令和6年度決算額		左の			翌年度への繰越額	不用額	
17110千尺 17 并识	17110千尺八升版	国県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	立十尺 107 株 区 识	1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、	
7, 000	6, 862	0	0	0	6, 862	0	138	
	〈主要な施策の	概要〉		〈財源内訳〉				
旅費 置き畳購入費 畳表購入 594 置き畳購入 5,703 運搬料 レンタカー燃料費 レンタカー借上料			163 6, 297 384 2 16					

今後の方向性 1 不要(廃止) ● 2 完了(終了) 3 民間実施

 (該当欄を選択)
 4 市による実施(規模縮小)
 5 市による実施(現行どおり)
 6 市による実施(規模拡充)

令和6年11月に珠洲市に置き畳を配付し、事業を完了している。

今後の方向性の理由、 改革改善の取組等

 豪雨
 事務事業名
 令和6年能登半島地震支援事業(置き畳)

 款項目

会計区分	一般会計						
款項目コード(款-項-目)	05 — 01 — 02						
所属課名	農業振興課						

主要な施策の成果(決算審査における主要施策)

(単位:千円)

事務事業の概要

令和6年能登半島地震によって被害に遭われた方が、避難所や仮設住宅で少しでも安心して過ごしていただくため、氷川町と連携し、また、八代地域農業協同組合の協力 により、八代産いぐさ畳表を活用した置き畳を提供するもの。

(枚数(半畳)) 八代市 3,600枚、氷川町 1,800枚、計 5,400枚

(提供先)石川県珠洲市、羽咋市、七尾市、輪島市、志賀町、穴水町、能登町

令和6年度予算額	令和6年度決算額			財源		翌年度への繰越額	不用額
7/110千尺了并领	7110千及次异俄	国県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	立十尺、07帐险银	作用領
1, 691	1, 475	0	0	0	1, 475	0	210
〈主要な施策の概要〉					<	財源内訳>	
【繰越分】 旅費 運搬料 レンタカー燃料費 レンタカー借上料 倉庫手数料			589 72 49 211 550 4				

今後の方向性 1 不要(廃止) ● 2 完了(終了) 3 民間実施

(該当欄を選択) 4 市による実施(規模縮小) 5 市による実施(現行どおり) 6 市による実施(規模拡充)

置き畳は令和5年度に作成。令和6年6月に被災地の仮設住宅等への配布を行い、事業を完了している。

豪雨 会計区分 い業振興対策事業 款項目コード(款-項-日) 05 所属課名

主要な施策の成果(決算審査における主要施策)

(単位:千円)

nз

·般会計

Λ1

農業振興課

事務事業の概要

骨表張替え促進事業補助金、い業機械再生支援事業補助金、いぐさ・骨表活性化連絡協議会負担金 他

1) 畳表張替え促進事業

市内在住者等が行う、八代産畳表の張替えに対し助成を行うもの。助成額:1畳当り1千円(上限:一般住宅 16千円、観光関連施設 110千円)

②い業機械再生支援事業

市内在住のいぐさ畳表生産者等が使用する専用機械の修理・再生に要する費用に対し助成を行うもの。助成額:事業費の1/2(上限額:ハーベスタ、織機、移植機、乾燥 機 20万円、その他専用機械 10万円)

③熊本県いぐさ・畳表活性化連絡協議会負担金

令和6年度予算額	令和6年度決算額		左の	財源		翌年度への繰越額	不用額		
卫和0千及了异创	卫和0千及次异敌	国県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	立 中 及 へ の 禄 及 ⋳	个用領		
40, 013	29, 338	0	0	11, 151	18, 187	0	10, 675		
	〈主要な施策の	概要〉		〈財源内訳〉					
会計年度任用職員 幸	B酬等		2, 820	〇その他特定財源	東				
政府予算要望旅費			231	ふるさと八代え	元気づくり応援基金	 全繰入金	11, 099		
いぐさ・畳表活性化選			1, 401	農林水産業費署	导附金		52		
	甫助金(336件 3,694村	女)	3, 694						
市有施設畳表張替(5			1, 006						
い業機械再生支援事業	美補助金(145件)		20, 186						
(主な内訳)									
ハーベスタ 101件	14, 871								
苗掘取機 16件	1, 535								
織機 11件	2, 010								
選別機 7件	700								
移植機 3件	409								
	等								
【ふるさと八代元気へ	づくり応援基金対応分】	11, 099							
(再掲) 市有施設畳表	長張替 (基金充当)	1, 006							
(再掲)い業機械再生	上支援事業補助金 (基金	金充当)10,093							
人络本士古典	4 不悪/点 (1)		o = = /4b = 1		0 BBD#5				

今後の方向性 1 不要(廃止) 2 完了(終了) 3 民間実施

(該当欄を選択)

八代市農地集積対策事業

主要な施策の成果(決算審査における主要施策)

4 市による実施(規模縮小) ● 5 市による実施(現行どおり) 6 市による実施(規模拡充) 【畳表張替え促進事業】地産地消の観点から有効であり、QRコードタグの挿入率も80%を超え挿入率の向上に寄与している。また、令和6年度から、観光客等が訪れる観光関 連施設を追加している。

今後の方向性の理由、 改革改善の取組等

た。 にい業機械再生支援事業】い業専用機械は生産を終了しているものも多く、生産者はオーバーホールや修繕による機械の延命を強いられている。機械修理には多額の経費が かかることから、本事業の活用により半数を超える生産者の機械の長寿命化が図られており、生産者の経営維持に寄与している。また、R6年度より、ハーベスタ、乾燥機、移植 機、緯機の4機種について、上限を20万円に拡充している。(予算額17.600千円→30.000千円) 【いぐさ・畳表活性化連絡協議会】熊本秋酒まつりでの100畳の畳設置やイベントでの県産いぐさ畳表PR、福岡県畳高等職業訓練校で開催した将来畳店になる生徒に向けた産

地研修など、多岐に渡り事業を行い、い草生産振興や需要拡大に寄与している。これらの事業は産地の維持に必要な事業であり、今後も継続する必要がある。

農林水産政策課 (単位:千円)

03

般会計

01

事務事業の概要

事務事業名

豪雨

申請された年度の前々年度の4月1日以降に、農地の規模を0.5ha(中山間地域は0.2ha)以上拡大を行った農業者が、その拡大した農地に必要な機械の導入経費に対し補 助するもの。

補助率:1/2以内

上限額:(1)平野地域 規模拡大面積が0.5ha以上1ha未満 500千円 上限額:(2)平野地域 規模拡大面積が1ha以上 1,000千円 上限額:(3)中山間地域 規模拡大面積が0.2ha以上 1,000千円

令和6年度予算額	令和6年度決算額		左の	翌年度への繰越額	不用額		
卫和0千及了异创	卫和0千及次异银	国県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	立 中 及 へ の 様	个用領
15, 000	15, 000	50	0	0 0 14, 950 0			0
〈主要な施策の概要〉				〈財源内訳〉			

15,000 〇県支出金 農地集積者支援事業(17件、19.1ha)

農地中間管理事業の推進に関する法律に基づく事務

会計区分

款項目コード(款-項-目)

所属課名

50

05

2 完了(終了) 今後の方向性 1 不要(廃止) 3 民間実施 4 市による実施(規模縮小) (該当欄を選択) ● 5 市による実施(現行どおり) 6 市による実施(規模拡充) 令和6年度末における本市の「担い手への農地集積率」は、78.2%となっており、国が目標としている80%に届いていない状況である。このことから、当 該事業の実施等による目標達成に向けた取組を推進する必要があることから、、今後も現行どおり事業を実施していく。 今後の方向性の理由、 改革改善の取組等

 事務事業名
 営農支援事業
 会計区分
 一般会計

 軟項目コード(軟-項-目)
 05 — 01 — 03

 所属課名
 農林水産政策課

主要な施策の成果(決算審査における主要施策)

(単位:千円)

事務事業の概要

就農直後の新規就農者をはじめ、経営課題を抱える農業者への指導、支援を行う。具体的には、営農支援員2人を配置し、就農希望者、新規就農者(概ね就農5年以下)、 認定農業者等への相談業務・支援業務を行う。特に、就農開始から2年以下の新規就農者へは、訪問の頻度を増やし、きめ細かくフォローすることで、就農継続の支援を 実施するとともに、就農開始5年目以降の離農率ゼロを目指す。

令和6年度予算額	令和6年度決算額		左の	財源		翌年度への繰越額	不用額	
节和0千尺了异创	卫和0千及次异银	国県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	立 中 及 へ の 秣	小 用領	
7, 023	3, 797	1, 500	0	0	2, 297	0	3, 226	
〈主要な施策の概要〉				〈財源内訳〉				
会計年度任用職員 報酬等 3,529 〇県支出金								
報償費(委員等謝礼) 30				30 農業次世代人材投資事業補助金 (定額) 83				
需用費(事務用品、雑誌購読料、ガソリン代、公用車等修理代) 238				38 新規就農者育成総合対策事業補助金(定額) 6				

今後の方向性 (該当欄を選択)

1 不要(廃止)
2 完了(終了)
3 民間実施
4 市による実施(規模縮小)
● 5 市による実施(現行どおり)
6 市による実施(規模拡充)

本事業の就農相談及び営農支援件数は、過去3年間で、640件、1.439件、791件と推移している。令和5年度の件数増加については、新型コロナウイルスが5類となり巡回及び相談者の活動が活発になったことが要因であるが、令和6年度については、営農支援員が1名体制であったことから、訪問頻度に影響があった。本年度については、職員(再任用)1名が増となり、営農支援員としての担務を担っているが、将来的には営農支援員の増員を検討する。

改革改善の取組等

豪雨			会計区分	一般会計
	事務事業名	フードバレー流通推進事業(地方創生)	款項目コード(款-項-目)	05 — 01 — 03
			所属課名	フードバレー推進課

主要な施策の成果(決算審査における主要施策)

(単位:千円)

事務事業の概要

国内販路拡大アドバイザーと連携し、食品製造メーカーやバイヤーへ本市農林水産物や加工品を提案し、国内での販路開拓・販路拡大を図る。

①国内販路拡大アドバイザーの設置

②サンプル発送業務

③バイヤー招聘事業(海外に販路のあるシェフなどとの商談会)

令和6年度予算額	令和6年度決算額		左の	財源		翌年度への繰越額	不用額
卫和0年及了昇額	市和0年及次昇租	国県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	笠年度への裸越額	个用領
6, 195	6, 050	1, 760	0	0	4, 290	(145
			<	財源内訳>			
海外に販路のあるショ	問件数79件) f t : 198件、発送:44件) c フなどとの商談会 sか 市内事業者8社参	h a)	2, 200 600 1, 320 1, 353 577		市国家構想交付金	(地方創生推進)(1	/2) 1,760

(該当欄を選択) 4 市による実施(規模縮小) ● 5 市による実施(現行どおり) 6 市による実施(規模拡充) 国内販路拡大アドバイザーと連携し、県内外に本市産品の販路拡大のための企業訪問を実施することで、新規成約に繋がった。過去3過年の新規成約 件数推移は令和4年度49件、令和5年度101件、令和6年度27件となっている。 今後も継続取引や新規成約に向けて国内販路拡大アドバイザーとも連携し、企業訪問を継続するとともに、農林水産物の一次加工による納品について食関連企業からの要望が多いことから、加工事業者と生産者のマッチングにも取り組む。 また、令和6年度は新たな取組みとして、八代港に寄港する外国クルーズ船シェフ向けの商談会を開催。今後も、インバウンド向けの方策として、寄港の増加しているクルーズ船の訪日外国人旅行者に対し、地域の食の魅力を発信する取組みを実施する。

豪雨

フードバレー輸出促進事業(地方創生)

会計区分		一般会計			
款項目コード(款-項-目)	05	03			
所属課名	フードバレー推進課				

主要な施策の成果(決算審査における主要施策)

(単位:千円)

事務事業の概要

海外販路拡大アドバイザーと連携し、親日である台湾や貿易障壁の少ない香港・シンガポールでのフェア開催や見本市出展等を中心とした活動を通して、市内の事業者 の海外展開、販路開拓・販路拡大の取組みを支援することで、農林水産物をはじめとした八代産品の輸出拡大を図る。

①海外販路拡大アドバイザーの設置

⑥香港での晩白柚プロモーション

②「くまもと県南フードバレーフェアIN台湾基隆市」開催 (2)(まもと県用ノートハレーノエノINロ/高座性ロリカル ③輸出相手国ニーズ調査(海外バイヤー商談会、セミナー開催) ④八代産品テストマーケティング(シンガポール市場)実施 ⑦くまもとうまかもん輸出協議会負担金 ⑧八代港農林水産物リーファーコンテナ助成金

⑤シンガポール向けデジタルセールス事業実施

19,439				たの	財源			
大学の概要 1,493	令和6年度予算額	令和6年度決算額	国県支出金			一般財源	翌年度への繰越額	不用額
旅費 1,493 〇国庫支出金 海外販路拡大アドバイザー委託 1,805 デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進)(1/2) 7,796 (1人 実績:企業訪問件数81件) くまもと県南フードバレーフェアIN台湾基隆市 8,041 (出展事業者:9事業者) 貿易実務業務委託 (くまもと県南フードバレーフェア輸出支援) 561 (1,499 (商談会:市内13事業者参加、セミナー開催:1回) (一次に最テストマーケティング支援事業業務委託 1,800 (参加事業者:6社 品目数:14商品) シンガポール向けデジタルセールス事業業務委託 300 (参加事業者:7社 品目数:42商品) (参加事業者:7社 品目数:42商品) (参加事業者:7社 品目数:42商品) (参加事業者:7社 品目数:42商品) (参加事業者:7社 品目数:42商品) (参加申業者:7社 品目数:42商品) (412	19, 439	17, 227	7, 796	0	0	9, 431		0 2, 212
海外販路拡大アドバイザー委託 1,805 デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進)(1/2) 7,796 (1人 実績:企業訪問件数81件)		〈主要な施策の			<	財源内訳>		
(1人 実績:企業訪問件数81件) くまもと県南フードバレーフェアIN台湾基隆市 8,041 (出展事業者:9事業者) 貿易実務業務委託(くまもと県南フードバレーフェア輸出支援) 561 輸出相手国ニーズ調査業務委託 1,499 (商談会:市内13事業者参加、セミナー開催:1回) 八代産品テストマーケティング支援事業業務委託 1,800 (参加事業者:6社 品目数:14商品) シンガポール向けデジタルセールス事業業務委託 300 (参加事業者:7社 品目数:42商品) 熊本県やつしろ晩白柚ブランド推進協議会負担金 1,216 香港 晩白柚フェア開催(R7.1.16~1.28) くまもとうまかもん輸出協議会負担金 412	旅費			1, 493	〇国庫支出金			
くまもと県南フードバレーフェアIN台湾基隆市 8,041 (出展事業者:9事業者) 貿易実務業務委託(くまもと県南フードバレーフェア輸出支援) 561 輸出相手国ニーズ調査業務委託 1,499 (商談会:市内13事業者参加、セミナー開催:1回) 八代産品テストマーケティング支援事業業務委託 1,800 (参加事業者:6社 品目数:14商品) シンガポール向けデジタルセールス事業業務委託 300 (参加事業者:7社 品目数:42商品) 能本県やつしろ晩白柚ブランド推進協議会負担金 1,216 香港 晩白柚フェア開催 (R7.1.16~1.28) くまもとうまかもん輸出協議会負担金 412	海外販路拡大アドバィ	′ ザー委託		1, 805	デジタル田園都	市国家構想交付金	(地方創生推進) (1/2) 7, 796
(出展事業者:9事業者) 貿易実務業務委託 (くまもと県南フードバレーフェア輸出支援) 561 輸出相手国ニーズ調査業務委託 1,499 (商談会:市内13事業者参加、セミナー開催:1回) ハ代産品テストマーケティング支援事業業務委託 1,800 (参加事業者:6社 品目数:14商品) シンガポール向けデジタルセールス事業業務委託 300 (参加事業者:7社 品目数:42商品) 能本県やつしろ晩白柚ブランド推進協議会負担金 1,216 香港 晩白柚フェア開催 (R7.1.16~1.28) くまもとうまかもん輸出協議会負担金 412	(1人 実績:企業訪	問件数81件)						
貿易実務業務委託 (くまもと県南フードバレーフェア輸出支援) 561 輸出相手国ニーズ調査業務委託 1,499 (商談会:市内13事業者参加、セミナー開催:1回) 八代産品テストマーケティング支援事業業務委託 1,800 (参加事業者:6社 品目数:14商品) シンガポール向けデジタルセールス事業業務委託 300 (参加事業者:7社 品目数:42商品) 能本県やつしろ晩白柚ブランド推進協議会負担金 1,216 香港 晩白柚フェア開催 (R7.1.16~1.28) くまもとうまかもん輸出協議会負担金 412	くまもと県南フードバレーフェアIN台湾基隆市 8,041							
輸出相手国ニーズ調査業務委託 1,499 (商談会:市内13事業者参加、セミナー開催:1回) 八代産品テストマーケティング支援事業業務委託 1,800 (参加事業者:6社 品目数:14商品) シンガポール向けデジタルセールス事業業務委託 300 (参加事業者:7社 品目数:42商品) 熊本県やつしろ晩白柚ブランド推進協議会負担金 1,216 香港 晩白柚フェア開催 (R7.1.16~1.28) くまもとうまかもん輸出協議会負担金 412	(出展事業者:9事業者)							
(商談会:市内13事業者参加、セミナー開催:1回) ハ代産品テストマーケティング支援事業業務委託 1,800 (参加事業者:6社 品目数:14商品) シンガポール向けデジタルセールス事業業務委託 300 (参加事業者:7社 品目数:42商品) 熊本県やつしろ晩白柚ブランド推進協議会負担金 1,216 香港 晩白柚フェア開催(R7.1.16~1.28) くまもとうまかもん輸出協議会負担金 412	貿易実務業務委託(くまもと県南フードバレーフェア輸出支援) 561							
八代産品テストマーケティング支援事業業務委託 1,800 (参加事業者:6社 品目数:14商品) シンガポール向けデジタルセールス事業業務委託 300 (参加事業者:7社 品目数:42商品) 熊本県やつしろ晩白柚ブランド推進協議会負担金 1,216 香港 晩白柚フェア開催 (R7.1.16~1.28) くまもとうまかもん輸出協議会負担金 412	輸出相手国ニーズ調査業務委託 1,499							
(参加事業者:6社 品目数:14商品) シンガポール向けデジタルセールス事業業務委託 300 (参加事業者:7社 品目数:42商品) 熊本県やつしろ晩白柚ブランド推進協議会負担金 1,216 香港 晩白柚フェア開催 (R7.1.16~1.28) くまもとうまかもん輸出協議会負担金 412	(商談会:市内13事業者参加、セミナー開催:1回)							
シンガポール向けデジタルセールス事業業務委託 300 (参加事業者: 7社 品目数: 42商品) 熊本県やつしろ晩白柚ブランド推進協議会負担金 1,216 香港 晩白柚フェア開催 (R7.1.16~1.28) くまもとうまかもん輸出協議会負担金 412	八代産品テストマーク	r ティング支援事業業務	务委託	1, 800				
(参加事業者: 7社 品目数: 42商品) 熊本県やつしろ晩白柚ブランド推進協議会負担金 1,216 香港 晩白柚フェア開催 (R7.1.16~1.28) くまもとうまかもん輸出協議会負担金 412	(参加事業者:6社	品目数:14商品)						
熊本県やつしろ晩白柚ブランド推進協議会負担金 1,216 香港 晩白柚フェア開催 (R7.1.16~1.28) くまもとうまかもん輸出協議会負担金 412	シンガポール向けデジタルセールス事業業務委託 300							
香港 晩白柚フェア開催 (R7.1.16~1.28) くまもとうまかもん輸出協議会負担金 412	(参加事業者:7社 品目数:42商品)							
くまもとうまかもん輸出協議会負担金 412	熊本県やつしろ晩白柚ブランド推進協議会負担金 1,216							
	ere received							
n n # # # 1 + # n = = 1 = # A (4 m)	くまもとうまかもん輸出協議会負担金 412							
八代港農杯水産物リーファーコンテナ助成金(I件) 100 100 100 100 100 100 100 100 100 10	八代港農林水産物リーファーコンテナ助成金(1件) 100							

今後の方向性 1 不要(廃止) 2 完了(終了) 3 民間実施

(該当欄を選択) 4 市による実施(規模縮小) ● 5 市による実施(現行どおり) 6 市による実施(規模拡充

今後の方向性の理由、 改革改善の取組等

令和3年度より地方創生推進交付金を活用し、海外販路拡大アドバイザーと連携し、市内事業者に対する輸出支援を実施してきた。これまで台湾や香 市和3年度より地分削工程進文や並を活用し、海外級的拡入プトバイリーと連携し、旧内事業者に対する輸出又後を美施してさた。これまで日清で音 港を中心にプロモーション活動を実施していたが、令和6年度より新たな海外市場への販路開拓・販路拡大を目的として、新市場としてシンガポールを対 象にテストマーケティング等を実施。今後は、台湾、香港での事業に加え、シンガポールにおいて本格的な輸出に向けて現地の小売店や飲食店に対し テスト販売やPR活動を実施するなど各種事業に取組む。各種事業に加え、意欲のある事業者の輸出に向けた取組みを支援する為の事業を展開する。

豪雨

フードバレー6次産業化等推進事業(地方創生)

会計区分	一般会計					
款項目コード(款-項-目)	05 — 01 — 03					
所属課名	フードバレー推進課					

主要な施策の成果(決算審査における主要施策)

(単位:千円)

八代市商品開発アドバイザーを核とした「6次産業化・農商工連携による新商品開発支援」や「地域内特産物の高付加価値化支援」等に取り組むことにより、生産者や食品 製造・販売事業者の所得向上を図る。また、くまもと県南フードバレー推進協議会や県南自治体などの関係機関と連携を図りながら、食関連事業者への支援や八代産品 の認知度向上を図る。

①商品開発アドバイザーの設置

事務事業名

②くまもと県南フードバレー推進協議会負担金

トマト・ミニトマトの配布、振る舞い鍋等

③トマトフェスタ開催補助金

令和6年度予算額	令和6年度決算額		左の	財源		翌年度への繰越額	不用額			
7和0千尺了并很	7110千及次异般	国県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	立十尺、の味趣領	か用領			
6, 397	6, 397	828	0	0	5, 569	0	0			
〈主要な施策の概要〉					<	財源内訳>				
商品開発・経営支援アドバイザー委託 1,65				〇国庫支出金						
企業訪問件数 101	回			デジタル田園都	邓市国家構想交付金	(地方創生推進) (1/	J生推進) (1/2) 828			
くまもと県南フードバ	ドレー推進協議会負担3	金	4, 341							
トマトフェスタ開催補助金 400										
トマト料理スタンプラリー開催(R6. 12/8~R7. 3/3)										
スリーデーマーチ出	∃展(R7.2/28~3/2)									

今後の方向性	1 不要(廃止)	2 完了(終了)	3 民間実施
(該当欄を選択)	4 市による実施(規模縮小)	● 5 市による実施(現行どおり)	6 市による実施(規模拡充)

過去3ヵ年の新商品開発数は、8品(R4年度)、10品(R5年度)、11品(R6年度)と増加傾向にあり、順調に推移している。 今後は、県南フードバレー推進協議会をはじめ、フードバレーアグリビジネスセンターなどと更なる連携を図りながら、市内事業者の商品開発サポート や、販路拡大、認知度向上を推進していく。

豪雨 会計区分 ·般会計 収穫体験事業 款項目コード(款-項-日) 05 Λ1 nз 所属課名 フードバレー推進課

主要な施策の成果(決算審査における主要施策)

(単位:千円)

事務事業の概要

本市で生産される豊かな農林水産物を観光素材と捉え、収穫体験等を顧客へ提供する仕組みを整備することで、地域に賑わいをもたらすとともに、市内農林水産事業者 等の活発な事業展開を促す。

専門的知識をもつ収穫体験コーディネーターによる、実施事業者向けのセミナーの開催や、事業者個別訪問、モニターツアーなどを実施し、事業者への助言や支援を行う とともに、商品化に向けた磨き上げを行う。

△和○左中マ笠笠	A STOCK 在沙伯斯		左の	財源		羽左在。八级地苑	T 10 45
令和6年度予算額	令和6年度決算額	国県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	翌年度への繰越額	不用額
1, 000	707	0	0	707	0	0	293
	〈主要な施策の	概要>			<	財源内訳>	
【ふるさと八代元気で 【平成28年熊本地震役 収穫体験事業に関する	夏興基金対応分】 354		500	平成28年熊本地	原 元気づくり応援基金 也震復興基金繰入3		353 354
スタートアップセミ 事業者個別訪問 9 モニターツアー開催 報告会 1回	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	~~ ~					
八代市収穫体験等事業	美補助金		207				
申請件数:5件(案内看	板やのぼり旗作成、収穫用	のハサミ購入等)					

今後の方向性 2 完了(終了) 1 不要(廃止) 3 民間実施 (該当欄を選択) 4 市による実施(規模縮小) ● 5 市による実施(現行どおり) 6 市による実施(規模拡充) 過去3ヵ年の収穫体験利用者は242人(R4年度)、201人(R5年度)、352人(R6年度)と順調に推移している。 今後も、専門家による収穫体験事業コーディネーター業務(スタートアップセミナー、事業者戸別訪問、モニターツアー等)や、収穫体験を実施するにあ たっての必要経費に対し、支援を行うことにより、新規事業者の育成や自走化を推進していく。 今後の方向性の理由、 改革改善の取組等

豪雨

八代產畳表認知向上,需要拡大推進事業

会計区分	一般会計					
款項目コード(款-項-目)	05 — 01 —					
所属課名	フードバレー推進課					

主要な施策の成果(決算審査における主要施策)

(単位:千円)

事務事業の概要

今後の方向性

(該当欄を選択)

今後の方向性の理由、 改革改善の取組等

1 不要(廃止)

4 市による実施(規模縮小)

事務事業名

畳関連事業者らと設立した協議会にて八代産畳表の認知向上・需要拡大のためのPR事業を実施していくと共に企業等への事業協力の働きかけを行う。 官民が一体となり設立した「八代産畳表認知向上・需要拡大推進協議会」が実施する八代産畳表の認知度向上・需要拡大のためのPR事業が円滑に展開するよう支援を

令和6年度予算額	令和6年度決算額		左の)財源		翌年度への繰越額	不用額
⊤和0+及了昇額	₽1110年及次昇報	国県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	立 中 及 へ の 裸	か用領
15, 000	13, 770	0	0	10, 180	3, 590	0	1, 230
	〈主要な施策の	概要〉			<	財源内訳>	
畳スピーカー「TTM (各種メディアでのP 企業とコラボしたP (「TTM-V20」プレス 【ふるさと八代応援基	向け体験会、呼吸の間	PR活動実施 イベント開催)	13, 770	○その他特定財派 企業版ふるさとハ代元		金繰入金	3, 000 7, 180

2 完了(終了)

八代産畳表認知向上・需要拡大推進協議会が実施するPR事業等が円滑に展開できよう事務局としてサポートを行う

なお、製品の売上に対する利益の一部を「八代産畳表の振興」のために販売元から寄付される仕組みを構築している。

● 5 市による実施(現行どおり)

「TITM-V20(畳スピーカー)の一般発売に伴い、これまで実施してきた「八代産量表のPR」に加え、「販売促進」にも重きを置き展示会、商談会に出展し販路拡大を図るとともに、協議会ホームページ等を活用した情報発信を行う。また、ハウスメーカー等に対し、和の空間として採用されるよう、建築士等に対するPR活動を実施するとともに、一般市民向けやインバウンド向けのPR活動を実施し、八代産量表の需要拡大を図る。

3 民間実施

6 市による実施(規模拡充)

豪雨

農業次世代人材投資事業

会計区分 ·般会計 款項日コード(款-項-日) 05 Λ1 nз 所属課名 農林水産政策課

主要な施策の成果(決算審査における主要施策)

(単位:千円)

事務事業の概要

農業従事者の高齢化が急速に進展する中、持続可能な力強い農業を実現するには、青年就農者(次世代の人材)の確保が重要である。そのため、経営が不安定な就農 初期段階の新規就農者に対して資金を交付し、就農意欲の喚起と就農後の定着を図る。

経営開始直後の新規就農者に対して事業の要件を満たした場合に、年間150万円の交付金を交付(最長5年間)する。※本事業は、令和3年度で事業は終了しているが、 令和3年度までの交付対象者に対して、事業完了年度(最長令和8年度)まで交付が続く。 なお、令和4年度からは、新規就農者育成総合対策事業により、事業は実施されている。

令和6年度予算額	令和6年度決算額		左の	財源		翌年度への繰越額	不用額	
卫和0千及了异创	市和0年及了昇額	国県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	立 中 及 へ の 麻	小用領	
11, 263	9, 730	9, 730	0	0	0	0	1, 533	
〈主要な施策の概要〉					<	財源内訳>		

9 730 ○ 直支出全 经党盟始刑

交付対象者: 8経営体10人 (個人: 6, 355 夫婦: 3, 375)

農業次世代人材投資事業補助金(10/10) 9.730

今後の方向性

1 不要(廃止)

2 完了(終了)

3 民間実施

(該当欄を選択)

● 4 市による実施(規模縮小)

5 市による実施(現行どおり)

6 市による実施(規模拡充)

款項目コード(款-項-目)

所属課名

05

今後の方向性の理由、 改革改善の取組等

事務事業の概要

本事業は、令和3年度に終了となっているが、最長5年間交付できるものであることから、継続対象者に対して交付しているものである。農業従事者の高 齢化が急速に進展する中、持続可能な力強い農業を実現するためには人材の確保が重要である。今後も継続対象者及び交付終了者の巡回及び営農 指導等のフォローアップを行い、認定農業者へのステップアップももちろんのこと、地域の担い手として確保、育成を図る。

豪雨

·般会計 会計区分

交付対象者:6経営体10人(個人:3,000 夫婦:4,500)

事務事業名

農林水産政策課 (単位:千円)

0.3

01

主要な施策の成果(決算審査における主要施策)

新規就農者育成総合対策事業

農業従事者が減少する中、持続可能な力強い農業を実現するには、次世代を担う農業者(青年就農者)の確保が重要であるす。そのため、親元就農も対象として含んだ 上で経営発展のための機械・施設の導入に対して、経営発展支援事業を交付し、また、経営が不安定な就農初期段階に対して経営開始資金を交付し、就農意欲の喚起と 就農後の定着を図る。

【経営発展支援】経営開始直後の認定新規就農者に対して事業の要件を満たした場合に、最大750万円の交付金を交付する。※夫婦で取り組む場合は1.5倍。、経営開始 資金を活用する場合は1/2

【経営開始資金】経営開始直後の認定新規就農者に対して事業の要件を満たした場合に、年間150万円の交付金を交付(最長3年間)する。※夫婦で取り組む場合は1.5 倍。

令和6年度予算額	△ fire 左 re th 管 fir		左の	財源		翌年度への繰越額	不用額
卫和0千及了异创	令和6年度決算額	国県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	立 中 及 へ の 様 皮 の	小用 領
30, 870	22, 500	22, 500	0	0	0	0	8, 370
〈主要な施策の概要〉					<	(財源内訳>	

経営開始資金 7 500 〇県支出金

新規就農者育成総合対策事業補助金 (10/10)

経営発展支援事業

交付対象者:2件

15,000

22.500

2 完了(終了) 今後の方向性 1 不要(廃止) 3 民間実施

4 市による実施(規模縮小) (該当欄を選択) ● 5 市による実施(現行どおり) 6 市による実施(規模拡充)

本事業は、次世代を担う農業者となることを志向する認定新規就農者に対し、事業の要件を満たした場合に、就農後の経営発展のために必要な機械・

今後の方向性の理由、 改革改善の取組等

施設の導入等に要する経費の一部を補助するものと、経営が不安定な就農初期段階の新規就農者に対して支援するものである。 現在も就農相談が多数あり、本事業を活用できるかどうか判断しつつ、青年等就農計画書等作成などのフォローアップに適切に取り組んでいる。 今後も、本事業を活用しながら担い手確保、育成を図る。

山村活性化支援対策事業

会計区分			一般会	計	
款項目コード(款-項-目)	05	_	01	_	03
正居理 夕		典士	나 승교	7生罪	

主要な施策の成果(決算審査における主要施策)

(単位:千円)

事務事業の概要

国の農山漁村振興交付金を活用して、山村の地域資源を活用した所得・雇用の増大や、農業を軸とした地域コミュニティ機能の維持・強化等に取り組む団体に対して、そ の取組を円滑に実施できるよう、国からの交付金が交付されるまでの活動資金として、つなぎ資金を貸し付けるもの。

4	令和6年度予算額	令和6年度決算額		左の	財源		翌年度への繰越額	不用額	
L	节和0千及了异创	卫和0千及次异般	国県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	立 中 及 へ の 秣	小用領	
	17, 456	9, 956	0	0	9, 956	0	0	7, 500	
Ī	〈主要な施策の概要〉					<	財源内訳>		
Į,	農山漁村振興つなぎ資	全金貸付金 9,956			〇その他特定財源	į			
	坂本町山村振興協議会 5,000				山村活性化支援	対策事業貸付金過	支還金	9, 956	
	ふれあい泉山村活性化協議会 4,956							•	

今後の方向性

1 不要(廃止)

2 完了(終了)

3 民間実施

(該当欄を選択)

4 市による実施(規模縮小)

● 5 市による実施(現行どおり)

6 市による実施(規模拡充)

農山漁村振興交付金は、特色ある地域資源の活用を通じた所得・雇用の増大などを図る取組を支援するものであり、中山間地域等における営農継続 に向け、今後も実施していく必要がある。

今後の方向性の理由、 改革改善の取組等

令和7年度は、坂本町山村振興協議会・ふれあい泉山村活性化協議会・東陽農村RMO協議会に対して実施する。

豪雨 事務事業名

スマート農業推進事業(地方創生)

会計区分	一般会計					
款項目コード(款-項-目)	05 — 01 — 03					
所属課名	農林水産政策課					

主要な施策の成果(決算審査における主要施策)

(単位:千円)

事務事業の概要

農業の担い手確保・育成、稼げる魅力ある農業の構築など、農業における様々な課題を解決するため、スマート農業技術による解決手法の検討及び実証を行う取組。(事業期間: 令和4年度~令和

置。「リビングラボ」において課題の抽出・整理を行い、解決手法の検討及び実証を進め、取組にて得られた成果を市内の農業者へ横展開する取組。 【その他の推進事業】農業者団体がスマート農業技術を学び、導入を検討する際の先進事例調査研究に係る支援を実施。また、農業者がスマート農業に対する理解を深めることを目的に、八代農 業塾において「スマート農業特別講座」を実施。

令和6年度予算額	令和6年度決算額		左の	財源		翌年度への繰越額	不用額
卫和04及了异战	卫和0千及次异创	国県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	立 中 及 へ の 様 皮 根	个用领
21, 250	21, 027	10, 513	0	0	10, 514	0	223
	〈主要な施策の	概要>			<	財源内訳>	
調査研究・実証事業 協議会負担金(スマ	19,950 ?ート農業やつしろ☆۶	卡来 創生会議)	19, 950	〇国庫支出金 デジタル田園都	3市国家構想交付金	(地方創生推進)(1/	(2) 10, 513
事業主体:市内農 事業内容:全国青	正進事例調査研究費補助 農業者団体(2団体) 青年農業者会議への参加		77				
先進事例調査 等 八代市担い手育成研修事業費補助金 (八代農業塾) 事業主体:八代市担い手育成総合支援協議会 事業内容:スマート農業特別講座の実施(全3回)			1, 000				

1 不要(廃止) 2 完了(終了) 今後の方向性 ● 3 民間実施 (該当欄を選択)

4 市による実施(規模縮小) 5 市による実施(現行どおり) 6 市による実施(規模拡充) 3年間(令和4年度~令和6年度)取り組んだスマート農業推進プロジェクト(地方創生)を契機に設立された一般社団法人FamLab8において、これまで実 施したスマート農業推進に係る取組が継続されることから、今年度以降は、当該法人と連携体制を構築するとともに、スマート農業の取組を市内農業者 等へ横展開していく。

今後の方向性の理由、 改革改善の取組等

また、キーマンとなる担い手を確保・育成するために、特に若手・女性農業者の人材育成や先進事例調査研究等に対する支援を行う。

豪雨 経営継承 発展支援事業

会計区分 ·般会計 款項目コード(款-項-日) 05 Λ1 nз 所属課名 農林水産政策課

主要な施策の成果(決算審査における主要施策)

(単位:千円)

事務事業の概要

将来にわたり地域の農地利用等を担う経営体の確保を目的として、地域農業の担い手である経営体の後継者が、経営継承後に当該経営の発展を図る取組を支援 加えて、地域農業の持続的な発展を促進するため、後継者による販路の開拓、新品種の導入、営農の省力化等の取組に対し、100万円を上限とし、国及び市町村がそれ ぞれ1/2以内を補助する支援を行う。

令和6年度は、補正予算により本事業を予算化し、実施体制の整備を行ったうえで事業を実施した。

令和6年度予算額	令和6年度決算額		左の	財源		翌年度への繰越額	不用額	
卫和0十尺了异创	卫和0千及次异银	国県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	立 中 及 へ の 麻	小用領	
1, 000	1, 000	0	0	500	500	0	0	
	〈主要な施策の	概要〉			<	財源内訳>		

経営継承・発展支援事業(1件)

1 000 ○その他特定財源

経営継承・発展支援事業補助金

500

今後の方向性

1 不要(廃止)

2 完了(終了)

3 民間実施

(該当欄を選択)

4 市による実施(規模縮小)

● 5 市による実施(現行どおり)

6 市による実施(規模拡充)

今後の方向性の理由、 改革改善の取組等

令和6年度については、1次公募では、応募がなく、2次公募において、1件の応募があり、採択となった。今後は、地域農業の担い手である経営体を継承しうる後継者への情報提供及び手続きのフォローアップを行い、経営を発展させる取組を支援することにより、将来にわたって地域の農地利用等を担 う経堂体の確保、育成を図る。

豪雨

·般会計 会計区分 下水汚泥肥料実証試験事業 款項日コード(款-項-日) 05 01 0.3 農業振興課 所属課名

主要な施策の成果(決算審査における主要施策)

(単位:千円)

近年、下水汚泥を原料とした肥料の推進が進められており、国も新たな「バイオマス活用推進基本計画」の閣議決定において、下水汚泥などを含めた総合的なバイオマス の利用の推進を掲げている。 汚泥肥料を普及させることで、肥料価格の高騰対策、化学肥料の低減による環境負荷の低減など、多くの効果が期待できるところである が、下水由来の肥料ということで、農業者、一般消費者にとっても抵抗感が根強いため、本市において汚泥肥料を用いた実証試験を実施し、安全性・有効性を実証するこ とで、農業者、消費者の不安感を払しょくするもの。

・八代市循環型肥料普及促進協議会への補助金

事務事業名

(使途) 残留農薬検査、土壌分析、圃場管理委託、その他事務費等

令和6年度予算額 令和6年度決算額		左の財源				翌年度への繰越額	不用額	
	7和0千尺了并积	THU干及次异做	国県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	立千皮 的	小用領
	2, 059	1, 154	0	0	1, 144	10	0	905
	<主要な施策の概要>					<	財源内訳>	

1, 154

【ふるさと八代元気づくり応援基金対応分】

○その他特定財源

事業実施主体:八代市循環型肥料推進協議会

ふるさと八代元気づくり応援基金繰入金

1.144

補助額 (基金充当) 1,144

総事業費:1,154 事業内容:下水汚泥肥料による実証試験

かった

今後の方向性 1 不要(廃止) 2 完了(終了) 3 民間実施 (該当欄を選択) 6 市による実施(規模拡充)

4 市による実施(規模縮小) ● 5 市による実施(現行どおり) 6 市によ 下水汚泥肥料を試作し、令和5年度に露地野菜圃場、令和6年度に水稲圃場にて実証試験を行った

水稲については、品質、収量とも慣行区と比較し同等の試験結果が得られたが、露地野菜については天候等の影響により、正確な試験結果が得られな

今後の方向性の理由、 改革改善の取組等

令和7年度は露地野菜及び水稲圃場にて再度試験を実施し、使用に適した作物や施肥方法の検討を行う。

強い農業づくり支援事業

会計区分	一般会計				
款項目コード(款-項-目)	05	_	01	_	03
所屋課名		曲	坐振 爾	理	

主要な施策の成果(決算審査における主要施策)

(単位:千円)

事務事業の概要

本市の強い農業づくりを推進するため、農畜産物の高品質・高付加価値化、低コスト化及び食品流通の効率化・合理化等、生産から出荷、販売までの取組を総合的に支 援するもの

【支援内容】

①共同利用施設等整備:乾燥調製施設、集出荷貯蔵施設、生産技術高度化施設(低コスト耐候性ハウス等)の整備 等

②卸売市場施設整備:売場施設、貯蔵・保管施設、搬送施設、衛生施設の整備 等

補助率:1/2以内

令和6年度予算額 令和6年度決算額		左の財源			翌年度への繰越額	不用額	
卫和0千及了异战	7110千及次异银	国県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	立 中 及 へ の 秣	个用領
1, 713, 236	82, 285	82, 285	0	0	0	1, 283, 817	347, 134
	〈主要な施策の	概要>			<	財源内訳>	
〈主要な施策の概要〉 【繰越分】 補助額 8. 事業実施主体:株式会社山田ファーム 総事業費:181,027 (事業者負担額:98,742) 事業内容:集出荷貯蔵施設の整備				〇県支出金 強い農業づくり	り総合支援交付金	(10/10)	82, 285
(編載明書/書) 1 909	017						

(繰越明許費) 1, 283, 817

補助額:788,482

事業実施主体:八代地域農業業協同組合 総事業費:1,734,662(事業者負担額:946,180)

事業内容:集出荷貯蔵施設の整備

事業実施主体: R7角鋼管ハウス生産管理組合 他2事業者

補助額: 495, 335

総事業費:1,089,738 (事業者負担額:594,403)

事業内容:低コスト耐候性ハウス

今後の方向性 1 不要(廃止) 3 民間実施 2 完了(終了)

(該当欄を選択) 4 市による実施(規模縮小) ● 5 市による実施(現行どおり) 6 市による実施(規模拡充

産地の収益力強化や合理化を図る取組に必要な施設の整備・再編のための事業であることから、今後も農業者の要望を把握しながら、事業実施に向

けた支援を継続していく

集出荷貯蔵施設の活用は今年度からとなるため、事業成果等は現時点では測定できないが、事業実施主体にて適切な活用がなされている。

今後の方向性の理由、 改革改善の取組等

豪雨 事務事業名 いぐさ・畳表生産体制強化支援対策事業

会計区分	一般会計					
款項目コード(款-項-目)	05 — 01 — 03					
所属課名	農業振興課					

主要な施策の成果(決算審査における主要施策)

(単位:千円)

事務事業の概要

改革改善の取組等

- いぐさ産地の生産体制を強化し、産地の維持を図るため、いぐさ専用機械の導入及び機能強化の支援を行う。
- (1)専用機械導入支援事業 専用機械の整備に係る経費を支援
 - ・色彩選別機等の導入支援
 - ・QRコード挿入装置付き畳表織機の導入支援
- (2)専用機械機能強化支援事業 専用機械の機能強化に係る経費を支援
 - いぐさ乾燥機の機能強化支援
 - ・畳表織機の機能強化支援

ľ	令和6年度予算額 令和6年度決算額		左の財源			翌年度への繰越額	不用額		
L	节和0千尺了异假	7110千及次异般	国県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	立十尺、の林陸領	作用領	
	5, 827	5, 253	5, 253	0	0	0	0	574	
Ī	〈主要な施策の概要〉				〈財源内訳〉				
ſ	事業実施主体:農業者	f 5戸			〇県支出金				

補助額 5, 253 総事業費:10,511(事業者負担金:5,258)

事業内容: 畳表織機のオーバーホール及び機能強化

いぐさ・畳表生産体制強化支援対策事業補助金	(10/10)	5, 253
-----------------------	---------	--------

今後の方向性	1 不要(廃止) 2 完了(終了) 3 民間実施
(該当欄を選択)	4 市による実施(規模縮小) 5 市による実施(現行どおり) 6 市による実施(規模拡充)
	畳表織機のオーバーホール及び機能強化を行ったことにより、畳表織機の延命化や畳表の品質向上等が図られ、い業経営の維持に寄与している。
	今後の方向性としては、本事業を活用し、生産工程の機械化による省力化などを継続的に行うことにより、生産効率を向上させ、産地の維持を図る。ま
今後の方向性の理由、	た、修理費用に係る乾燥機や畳表織機のオーバーホール等を推進し、機械の長寿命化を図る。

産地生産基盤パワーアップ事業

会計区分		一般会計						
款項目コード(款-項-目)	05	— 01	_	03				
所属課名		農業振興	譚					

主要な施策の成果(決算審査における主要施策)

(単位:千円)

事務事業の概要

水田・畑作・野菜・果樹等について「産地パワーアップ計画」に基づき、意欲ある農業者が高収益作物・栽培体系への転換を図るための取り組みを支援するもの。

整備事業:乾燥調製施設、育苗施設、集出荷貯蔵施設等の導入

基金事業:リース方式による農業機械、資材等の導入

補助率:1/2以内

令和6年度予算額	令和6年度決算額		左の	財源	翌年度への繰越額	不用額	
卫和0年及了昇額	卫和0千及灰异银	国県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	笠中度への裸越額	个用領
411, 806	363, 956	363, 956	0	0	0	0	47, 850
〈主要な施策の概要〉				〈財源内訳〉			

○直支出全

【縕越分】

事業実施主体:農事組合法人八協連

363.956

産地生産基盤パワーアップ事業補助金(10/10)

363, 956

補助額:363,956

総事業費: 801, 460 (事業者負担額: 437, 504)

事業内容:集出荷貯蔵施設の整備

今後の方向性

1 不要(廃止)

2 完了(終了)

3 民間実施

(該当欄を選択)

4 市による実施(規模縮小)

● 5 市による実施(現行どおり)

6 市による実施(規模拡充)

産地の高収益化に向けた取組や園芸作物等の生産基盤の強化を図るための施設整備・機械導入のための事業であり、今後も農業者の要望を把握し ながら、事業実施に向けた支援を継続していく。令和6年度において導入された施設は、各事業実施主体において適切な活用がなされている。

今後の方向性の理由、 改革改善の取組等

豪雨 事務事業名

園芸 · 果樹振興対策事業

会計区分 ·般会計 款項目コード(款-項-目) 05 01 04 農業振興課 所属課名

主要な施策の成果(決算審査における主要施策)

(単位:千円)

事務事業の概要

園芸・果樹の生産振興に関する各種の取り組みを実施するもの。

【事業内容】

①トマト黄化葉巻病まん延防止のための地域取組に係る経費の一部補助及び啓発チラシの配布

②有害鳥獣による農作物被害を防止するための防護柵設置に係る経費の一部補助 補助率:1/2(上限:一か所につき2万円【圃場2箇所まで】)

③晩白柚産地の維持・拡大及び晩白柚の品質向上に向けた取組に係る経費の一部補助 補助率:1/2(上限:圃場面積10アールまで)

④各種生産振興協議会への負担金の支出 等

トマト黄化葉巻病地域対策事業

晚白柚生産支援事業

令和6年度予算額 令和6年度決算額		左の見		財源		翌年度への繰越額	不用額
卫和0十尺了异创	卫和0千及次异般	国県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	立 中 及 へ の 様	个用領
4, 607	3, 561	0	0	2, 289	1, 272	0	1, 046
〈主要な施策の概要〉			〈財源内訳〉				
トマト黄化葉巻病対策	長啓発チラシ		492	〇その他特定財源			
有害鳥獣防護柵設置事	事業		307	ふるさと八代え	2, 289		
熊本県野菜振興協会負	負担金		230				
熊本県花き協会負担金	È		100				
八代地域果樹産地協議	八代地域果樹產地協議会負担金 101						
	等						
【ふるさとハ代元気~	づくり広揺其全対応分)	1 2 289					

2,096

193

今後の方向性	1 不要(廃止)	2 完了(終了)	3 民間実施

(該当欄を選択) 4 市による実施(規模縮小) ● 5 市による実施(現行どおり) 6 市による実施(規模拡充)

トマト黄化葉巻病地域対策事業の活用等により、令和4~6年度のトマト黄化葉巻病の発生は平年以下となっている。トマト栽培は本市農業の基幹とな

今後の方向性の理由、 改革改善の取組等

るもので、トマト黄化葉巻病が蔓延した場合の農家への影響は非常に大きくなるため、蔓延防止の周知・啓発及び対策の継続が必要である。 晩白柚についても本市の特産物であることから、継続的に生産支援を実施しながら、産地の維持・拡大を図ることが必要である。

攻めの園芸生産対策事業

会計区分	一般会計				
款項目コード(款-項-目)	05	_	01 –	_ 04	
所属課名	農業振興課				

主要な施策の成果(決算審査における主要施策)

(単位:千円)

事務事業の概要

園芸作物の生産力を強化し国内外との競争に打ち勝ち、気象災害に負けない産地づくりの構築を図るため、販売価格・生産量・出荷量の増大、生産経費の削減の取組を 支援するもの。

【支援内容】

収量向上施設・機械、病害虫防除施設・機械、耐風性ハウスの導入等補助率:1/3以内

令和6年度予算額	令和6年度決算額		左の	財源		翌年度への繰越額	不用額	
₽₩₩₽₽₽₽₩	THU十及仄异银	国県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	立中反への裸越領	か用領	
22, 945	10, 329	10, 329	0	0	0	0	12, 616	
	〈主要な施策の	概要>		〈財源内訳〉				
補助額 総事業費:19,745(事	地域農業協同組合園芸語 事業者負担金:13,762)		5, 983	〇県支出金 攻めの園芸緊急	急生産対策事業補助	功金(10/10)	10, 329	
補助額 総事業費:4,048(事	事業内容:谷自動換気施設の導入 補助額 1,226 総事業費:4,048(事業者負担金:2,822) 事業内容:自動内張開閉装置の導入							
1.2 1 11124 / 11								
補助額 総事業費:5,236(事 事業内容:養液潅水放			1, 586					

今後の方向性 1 不要(廃止) 3 民間実施 2 完了(終了) (該当欄を選択) 4 市による実施(規模縮小) ● 5 市による実施(現行どおり) 6 市による実施(規模拡充)

施設園芸を中心とした、農産物の販売価格の向上、生産・出荷量の増大、生産経費の削減への取り組みを進めるための事業であることから、今後も農業者の要望を把握しながら、事業実施に向けた支援を継続していく。 各施設は年度末にしゅんエし、施設の活用は今年度からとなるため、事業成果等は現時点では測定できないが、事業実施主体にて適切な活用がなさ

今後の方向性の理由、 改革改善の取組等

れ、生産力強化や労働生産性の向上が図られている。

豪雨 会計区分 ·般会計 事務事業名 園芸産地における事業継続強化対策事業 款項日コード(款-項-日) 05 01 04 所属課名 農業振興課

主要な施策の成果(決算審査における主要施策)

(単位:千円)

事務事業の概要

産地の生産部会等の単位で複数農業者による共同の事業継続計画(BCP)を策定し、計画に基づく事業の継続や非常時の早期復旧に必要な体制整備、BCPの実践に必 要な技能習得、災害復旧の取組実証、ハウスの補強等の被害防止対策に資する取組を支援するもの。

災害に備えたハウスの補強、防風ネットの設置、停電時の被害防止に必要な非常用電源や大雪によるハウス倒壊を防ぐ融雪装置等の導入等 補助率:1/2以内

令和6年度予算額 令和6年度決算額		左の財源				翌年度への繰越額	不用額
7和0千尺了并做	7110千及次异假	国県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	立十尺 700 休吃锅	作用領
1, 730	1, 690	1, 690	0	0	0	0	40
〈主要な施策の概要〉				〈財源内訳〉			
事業実施主体:八代トマト生産管理組合				〇県支出金			
## Bh 26 1 600 1				周世産地におけ	ス事業継続強化力	Y 生事業基本的全 (10/1	0) 1 600

総事業費: 3,718 (事業者負担金: 2,028)

園芸産地における事業継続強化対策事業費補助金(10/10)

事業内容:非常用電源の導入

今後の方向	9性	1 不要(廃止) 2 完了(終	· [3] [3] [4] [5] [5] [6] [6] [6] [6] [6] [6] [6] [6] [6] [6
(該当欄を選	択)	4 市による実施(規模縮小) ● 5 市による	5実施(現行どおり) 6 市による実施(規模拡充)
今後の方向性の 改革改善の取	理由、	自然災害発生に予め備え、災害に強い産地を形成するための ら、事業実施に向けた支援を継続していく。 令和6年度において導入された機械は、事業実施主体において	取組に必要な機械等を導入する事業であることから、今後も農業者の要望を把握しなが C適切な活用がなされている。

施設園芸産地緊急発展事業

 会計区分
 一般会計

 款項目コード(款-項-目)
 05 — 01 — 04

 所属課名
 農業振興課

主要な施策の成果(決算審査における主要施策)

(単位:千円)

2.446

事務事業の概要

農家の減少や資材費等の高騰によりハウス整備が困難になっている状況から、施設園芸産地の発展を目指して、担い手が実施するハウス整備を支援するもの。 【支援内容】

中古ハウスの移設、ハウスの補修・補強、仕様変更等

補助率:1/3以内

令和6年度予算額	令和6年度決算額		左の	翌年度への繰越額	不用額		
卫和0十尺了异创	卫和0千及次异银	国県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	立 中 及 へ の 秣	か用領
4, 479	4, 283	2, 446	0	0	1, 837	0	196
〈主要な施策の概要〉					<	財源内訳>	

施設園芸産地緊急発展事業費補助金 (10/10)

4. 283

事業宝施主休 · Δ事業主休 ○ □ 支出全

補助額

総事業費:14,305(事業者負担金:10,022) 事業内容:中古ハウスの移設、補修補強

※うち1事業者より概算払い後の事業取下げの申し出あり。

令和7年度に補助金返還見込み。

返還額 1,837

 今後の方向性
 1 不要(廃止)
 2 完了(終了)
 3 民間実施

(該当欄を選択) 4 市による実施(規模縮小) ● 5 市による実施(現行どおり) 6 市による実施(規模拡充)

中古ハウスの有効利用等により担い手へのハウスの集積・集約を図るための事業であることから、今後も農業者の要望を把握しながら、事業実施に向

けた支援を継続していく

今後の方向性の理由、 改革改善の取組等 令和6年度において整備された施設は、各事業実施主体において適切な活用がなされている。

 事務事業名
 施設園芸燃油価格高騰対策支援事業 (重点交付金)
 会計区分 款項目コード(款-項-目)
 の5 一 01 — 04 農業振興課

主要な施策の成果(決算審査における主要施策)

(単位:千円)

事務事業の概要

コロナ禍における燃油価格高騰に係る施設園芸農家の負担を軽減し、もって農業経営の安定に寄与するため、燃油代の一部を補助するもの。

【又**抜**闪谷 計免辦油

> ・予解が出 令和5年9月1日から令和6年3月31日までに納品されたA重油及び灯油、LPガス

補助額

A重油、灯油:1リットルあたり5円 LPガス:1キログラムあたり5円

令和6年度予算額	令和6年度決算額		左の	翌年度への繰越額	不用額		
7和0千尺了并做	7410十及次异银	国県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	立十尺、の林旭領	小用領
145, 084	115, 386	115, 386	0	0	0	0	29, 698
〈主要な施策の概要〉					<	(財源内訳>	

【臨時交付金対応分】 【臨時交付金対応分】

【繰越分】115,386

【繰越分】

施設園芸燃油価格高騰対策支援事業補助金

115, 344 〇国庫支出金

爬战图云燃冲响竹同腐对束又拨争未怕功 郵便料

42 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金

115, 386

申請者数:547人

事業量: A重油 (23,017,538&) 灯油 (37,265&) LPガス (13,912Kg)

今後の方向性 1 不要(廃止) ● 2 完了(終了) 3 民間実施

(該当欄を選択) 4 市による実施(規模縮小) 5 市による実施(現行どおり) 6 市による実施(規模拡充)

今後も燃油の平均価格の推移や国・県の動向を注視していく。

 事務事業名
 食育推進育成事業
 会計区分
 一般会計

 軟項目コード(軟-項-目)
 05
 — 01
 — 05

 所属課名
 農林水産政策課

主要な施策の成果(決算審査における主要施策)

(単位:千円)

事務事業の概要

肥料高騰が続く中、SDGsの観点で「持続可能な農業」を目指すモデル事業として、自然農法に取り組む農家が有機材倍を行う食材を提供し、小学校の家庭科の授業で の食育推進を図る。また、地域の農産物を活用した地域伝統食の製造体験、配布を通じ食文化への理解を深める。

持続可能な農業への取組み事例や地域農産物を活用した地域伝統食の製造体験等を通じ、「食」がもつ多様な役割の大切さを伝え、安全安心な地域農産物や食文化に ついての理解を深め地産地消の推進を図ることで地域農業の活性化を目指す。

令和6年度予算額	令和6年度決算額	左の財源				翌年度への繰越額	不用額
卫和0年及了异积	7110十及次异银	国県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	立 中 及 へ の 秣 匹 領	か用領
50	50	0	0	0	50	0	0
〈主要な施策の概要〉				〈財源内訳〉			

食育推進育成事業

対象校:植柳小学校

内 容:有機栽培米の作付・収穫体験、試食及び学習の

成果発表

今後の方向性

1 不要(廃止)

2 完了(終了)

3 民間実施

(該当欄を選択)

4 市による実施(規模縮小)

● 5 市による実施(現行どおり)

6 市による実施(規模拡充

持続可能な農業への取組みや地域農産物を活用した食品、有機栽培による農産物の重要性を伝えるとともに、学校教育を通じた食育の推進や地域の食文化への理解を深めることで、農業振興と地産地消を促進する。

今後の方向性の理由、 改革改善の取組等

豪雨 事務事業名

土地改良施設維持管理適正化事業

 会計区分
 一般会計

 款項目コード(款-項-目)
 05 — 01 — 08

 所属課名
 農地整備課

主要な施策の成果(決算審査における主要施策)

(単位:千円)

事務事業の概要

老朽化した農業水利施設(排水機場等)の機能を維持し、長寿命化を図るため、施設の整備補修を行うものである。

【負担割合】

第46期生まで:国30% 県30% 市30% 残:市10%。第47期生から:国50% 県20% 市30%(事業実施年度に負担)

助成を受けるには、市はこの事業に加入し、事業費の30%を5年間均等に積み立てる必要がある。(積み立てる金額を拠出金という)

第46期生までは、5年間のうちに整備補修を実施し、実施年度に90%(国30%、 県30%、 市30%)が交付され、残り10%を市が負担することになる。別途、事務費として事業 費の3%を納入する。第47期生からは、原則加入年度に整備補修を実施し、実施年度に100%(国50%、 県20%、 市30%)が交付される。別途、事務費として事業費の3% と財政融資利息を納入する。事業費は200万円以上が対象である。

令和6年度予算額	令和6年度決算額		左の	財源		翌年度への繰越額	不用額
节和0千尺了异创	卫和0十及次异银	国県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	立 中 及 へ の 禄 と 敬	小 用領
37, 327	17, 229	0	0	10, 630	6, 599	20, 097	1
	〈主要な施策の概要〉				<	財源内訳>	
	ンジン整備工事		3, 707 9, 218 4, 304		§ 推持管理適正化事業	美交付金	10, 630

 今後の方向性
 1 不要(廃止)
 2 完了(終了)
 3 民間実施

(該当欄を選択) 4 市による実施(規模縮小) ● 5 市による実施(現行どおり) 6 市による実施(規模拡充)

排水機場は、農地の冠水被害だけでなく、市街地等を浸水被害から守る重要な施設であり、本事業はその排水機場のエンジンやポンプ等の整備補修 を行うことによって、施設の長寿命化を図るものである。排水機場の中には、造成後30年を経過し老朽化が進んだものも多く、今後も適切な整備・補修 を行っていく。

豪雨

県営土地改良事業負担金事業

会計区分	一般会計			
款項目コード(款-項-目)	05	— 01 —	08	
所属課名	農地整備課			

主要な施策の成果(決算審査における主要施策)

(単位:千円)

事務事業の概要

県営土地改良事業による地方財政法、土地改良法及び海岸法に基づく地元負担金である。各事業の規定に応じて、大規模あるいは事業費が多額の場合は県営事業とな り、市町村はその事業費に対してガイドラインに定めのある負担率(5~25%)の負担金を支出する。

【負担率】かんがい排水事業10%、経営体育成基盤整備事業10%、湛水防除事業13%、農地海岸保全事業5% 等

※「平成28年熊本地震 八代市復旧・復興プラン」事務事業

県営事業負担金 経営体育成基盤整備事業 3地区(昭和、野崎、両出)、かんがい排水事業 2地区(古閑浜、津口・芝口)、湛水防除事業 1地区(金剛)、農地海岸保全 事業 3地区(文政、金剛、八代海岸)

^	A 7	1	左の	財源		77 6 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	- m+r
令和6年度予算額	令和6年度決算額	国県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	翌年度への繰越額	不用額
187, 896	154, 847	0	146, 700	0	8, 147	0	33, 049
	〈主要な施策の概要〉				<	財源内訳>	
県営土地改良事業負担	旦金			〇地方債			
経営体育成基盤整備	#事業 3地区(昭和、	野崎、両出)	31, 920	県営経営体育成	法盤整備事業負担	旦金	30, 400
県営かんがい排水事	事業 2地区(古閑浜、	津口・芝口)	71, 930	県営排水対策特	F別事業負担金		68, 600
県営海岸保全事業	3地区(文政、金剛、	八代海岸)	32, 797	県営海岸保全事	業負担金		31, 400
県営湛水防除事業	1地区(金剛)		18, 200	県営湛水防除事	¥ 負担金		16, 300

今後の方向性 (該当欄を選択)

1 不要(廃止)

2 完了(終了)

3 民間実施

4 市による実施(規模縮小)

● 5 市による実施(現行どおり)

6 市による実施(規模拡充)

県営土地改良事業による市負担金であり、老朽化した排水機場の更新や海岸・排水路等の改修事業を行っており、多額の事業費を伴うため事業期間 も長期化している。今後とも県と連携を図り、優先順位等を考慮し計画的に推進してくと共に、国に対しても予算拡大の要望を行っていく。

今後の方向性の理由、 改革改善の取組等

豪雨 事務事業名

多面的機能支払交付金事業

会計区分	一般会計					
款項目コード(款-項-目)	05	_	01 —	08		
所属課名	農地整備課					

主要な施策の成果(決算審査における主要施策)

(単位:千円)

農業・農村の持つ多面的機能(国土の保全、水資源の涵養、自然環境の保全、良好な景観の形成等)の維持・発揮及び農地・水路・農道等、生産基盤の維持管理を推進 するため、農業者だけでなく、非農業者である地域住民等が参加する「活動組織」を設立し、その組織が実施する施設の維持管理活動や老朽化が進む農業用施設の長寿 命化等の取組みに対して、支援を行うもの。

【負担割合】国50%、県25%、市25% 【事業内容】①農地維持支払交付金:農地法面の草刈、水路の泥上げ、農道の砂利補充などの基礎的な保全活動

②資源向上支払交付金(共同活動):施設(水路及び農道など)の軽微な補修、生態系保全、景観形成などの農村環境の保全を図るための活動 ③資源向上支払交付金(長寿命化):老朽化が進む農地周りの農業用排水路、農道などの施設の長寿命化のための補修・更新などの活動

令和6年度予算額	△和c左连边等标	.	左の財源				不用額
节和0年度卫昇額	令和6年度決算額	国県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	翌年度への繰越額	个用領
266, 544	261, 26	196, 061	0	0	65, 200	0	5, 28
	〈主要な施策	の概要>			<	財源内訳>	
用費 消耗品費 燃料費 記面GIS保守業系 品購入助金 一次 一次 一次 一次 一次 一次 一次 一次 一次 一次 一次 一次 一次	寸金 2 寸金(共同活動) 1	29組織 3組織 8組織	338 26 92 5 116, 953 53, 328 90, 519	多面的機能支払	交付金事業補助金推進交付金(10/		195, 60 46

(該当欄を選択)	4 市による実施(規模縮小)	● 5 市による実施(現行どおり)	6 市による実施(規模拡充)	
	近年の農村地域の過疎化、高齢化、混住化	等の進行に伴う集落機能の低下により、	. 地域の共同活動によって支えられている	多面的機能の維持・発揮
	レ 農田地 水路 農道笙の地域咨询の保存	◆管理に支除が生じつつある		

今後の方向性の理由、 改革改善の取組等

今後も地域の共同活動に係る支援を行い、地域資源の適切な保全管理を推進することにより、農業の有する多面的機能が今後とも適切に維持・発揮さ れることを推進していく。

豪雨 車務車業名

水利施設管理強化事業

 会計区分
 一般会計

 款項目コード(款-項-目)
 05 ー 01 ー 08

 所属課名
 農地整備課

主要な施策の成果(決算審査における主要施策)

(単位:千円)

事務事業の概要

本事業は、土地改良区が管理する農業用水利施設の維持管理費のうち、多面的機能分及び管理の高度化分等について支援を行い、管理体制の強化を図る。 【事業内容】

・ 水利施設管理強化事業(一般型):土地改良区が管理する農業用水利施設等の維持管理費のうち、多面的機能分及び管理の高度化分等について支援を行い、管理体制 の強化を図る。[負担割合:国50%、県20%、市30%]

水利施設管理強化事業(省エネルギー化推進型):水利施設管理強化事業において、省エネルギー化推進計画に基づき、農業水利施設の省エネ化及びコスト削減に取り組む施設管理者(市・土地改良区)に対し、エネルギー価格高騰分の7割を支援する補助金。[負担割合:国100%]

		左の財源						
令和6年度予算額	令和6年度決算額	国県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	翌年度への繰越額	不用額	
35, 579	35, 579			0	8, 662	0	0	
〈主要な施策の概要〉				〈財源内訳〉				
水利施設管理強化事業 (一般型) 補助金 34,884 水利施設管理強化事業 (省エネルギー化推進型) 補助金 695				84 ○県支出金 95 熊本県農業農村整備事業補助金 (1.9/10) 水利施設管理強化事業補助金 (5.1/10・10/10)				
				八	3.10 中未開助业(0	. 1/ 10 10/ 10/	20, 290	

今後の方向性

1 不要(廃止)

2 完了(終了)

3 民間実施

(該当欄を選択)

4 市による実施(規模縮小)

● 5 市による実施(現行どおり)

6 市による実施(規模拡充)

今後の方向性の理由、 改革改善の取組等 農業水利施設は、農業用水の供給、農業排水等の機能だけでなく、水資源の涵養や洪水防止等の多面的機能を有しており、近年の集中豪雨の激甚化・頻発化によって、果たす役割がますます重要になっていることから、施設管理者である土地改良区等への支援を継続して行い、多面的機能の適正な発揮を推進していく。

豪雨

市内一円土地改良整備事業

 会計区分
 一般会計

 款項目コード(款-項-目)
 05 — 01 — 08

 所属課名
 農地整備課

主要な施策の成果(決算審査における主要施策)

(単位:千円)

事務事業の概要

事務事業名

主に各校区からの市内一円における排水路及び農道等の農業生産基盤に対する整備要望に対応するものであり、緊急性や必要性の観点と予算の動向を踏まえ整備箇 所を抽出し工事等を行っている。

排水路改修、道路改良・舗装工事、測量設計委託、排水路・農道等修繕、地元施工時の原材料支給、各団体等への事業負担金及び・補助金交付等。

令和6年度予算額	令和6年度決算額		左の	財源		翌年度への繰越額	不用額	
71/110千尺 / 异创	TfIU十及仄异银	国県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	立十尺、切樣炮領	小用領	
176, 240	171, 446	740	56, 300	300	114, 106	2, 400	2, 394	
	〈主要な施策の	概要〉		〈財源内訳〉				
排水路等測量設計 排水路改修工事(2 道路・農道改良工事 原材料支給(36件) 団体営土地改良事事	登事業測量設計委託 (3 を託 (10件) L=1376m 9件) L=967m 国 (8件) L=840m 機構助金 (区営) 場場費、重機使用料等)		17, 783 13, 616 56, 027 36, 762	○地方債 市内一円道路動団体営土地改良 ○その他特定財源 農業振興費寄	是事業 原	(4/10)	740 40, 500 13, 600 300	
【繰越分】 2,445 団体営土地改良事業	美補助金 (区営)		2, 445	【繰越分】 〇地方債 団体営土地改貞	見事業		2, 200	

今後の方向性1 不要(廃止)2 完了(終了)3 民間実施(該当欄を選択)4 市による実施(規模縮小)5 市による実施(現行どおり)6 市による実施(規模拡充)

各校区要望に対し工事を実施しているが、要望の増加や突発素件等により十分な対応ができていない状況である。今後は、これまで以上に要望箇所の精査と緊急性・必要性等を精査しながら補助事業の活用を進め、効果的な事業推進を図る。

豪雨

土地改良施設突発事故復旧事業

会計区分	一般会計 0 05 — 01 — 08			
款項目コード(款-項-目)	05	— 01 —	80	
所属課名		農地整備理		

主要な施策の成果(決算審査における主要施策)

(単位:千円)

事務事業の概要

土地改良施設の老朽化が進み、施設の突発事故が発生した場合において、営農等に支障が生じることのないよう、早期に施設機能を回復させる事業。 令和6年8月八代南部排水機場において、3号ポンプ設備の突発事故が発生し、その機能を回復させるために、設備の交換・整備を行うものである。 【負担割合】国55%、県21%、市24%

令和6年度予算額	令和6年度決算額		左の財源			翌年度への繰越額	不用額
卫和0千尺了异创	卫和0十及次异般	国県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	立十段への深地領	小 用領
326, 920	52, 105	0	46, 800	0	5, 305	274, 815	0
	〈主要な施策の	概要〉			<	財源内訳>	
工事請負費				〇地方債			
八代南部排水機場3-	号ポンプ設備復旧工事		52, 000	土地改良施設突	2発事故復旧事業		46, 800
普通旅費							
工場検査			105				
(繰越明許費) 274,	, 815						

今後の方向性

1 不要(廢止)

2 完了(終了)

3 民間実施

(該当欄を選択)

4 市による実施(規模縮小)

● 5 市による実施(現行どおり)

6 市による実施(規模拡充)

市内土地改良施設のなかでも、特に排水機場の老朽化が進み、設備の突発事故が発生しやすい状況にあるため、突発事故が発生した場合において は本事業を活用し、早期に施設機能を回復させていく。

今後の方向性の理由、 改革改善の取組等

豪雨 事務事業名

担い手育成総合支援事業

会計区分 ·般会計 款項目コード(款-項-目) 05 01 10 所属課名 農林水産政策課

主要な施策の成果(決算審査における主要施策)

(単位:千円)

事務事業の概要

地域の特性を活かした農業経営を確立するため、農業経営基盤強化法による認定農業者制度の普及・啓蒙を推進するとともに、農業経営、簿記、税務などの研修会を計 画的に実施するため、八代市担い手育成総合支援協議会に対して活動費を助成する。

【通常運営分】(1)認定農業者の新規認定、再認定の推進(2)認定農業者の経営改善支援、フォローアップの実施、研修会等の開催(3)認定農業者の法人化の推進、研

修会への参加等(4)補助事業の実施、事業後のフォーローアップ(5)各関係団体と連携 以上の事業を行うため活動費を助成。 【八代農業塾運営分】 令和6年度は、これまでの農業知識習得に必要な専門講師による講義を一部見直し、八代農業高校の教員を講師とした体験学習を取り入れたこと により、農業を体験し親しむ場として、着実に成果が上がっており、今後も継続して事業を実施する。

令和6年度予算額	令和6年度決算額		左の	財源		翌年度への繰越額	不用額
下和0年及了昇額	7110千及次异假	国県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	笠年及べの裸越額	个用領
2, 800	2, 462	1, 042	0	250	1, 170	0	33
	〈主要な施策の	概要>			<	財源内訳〉	
担い手育成総合支援署 八代市担い手育成総 元気な認定農業者	総合支援協議会補助金		2, 212	〇その他特定財源	き者づくり事業補助 長気づくり応援基金		1, 04 25
	づくり応援基金対応分】 総合支援協議会補助金 《(八代農業塾)	250	250				
後の方向性	1 不要(廃止)		2 完了(終了)		3 民間実施		

今後の方向性の理由、 改革改善の取組等

(該当欄を選択)

4 市による実施(規模縮小) 5 市による実施(現行どおり) ● 6 市による実施(規模拡充)
本事業による認定農業者数は、過去3年間で、1,295人、1,276人、1,207人と推移している。新規に認定農業者を取得する者はいるものの、離農、規模縮 小により、再認定されない農業者も増えつつある。また、「八代市担い手育成総合支援協議会」については、補助金を基盤として事務局体制を整備しな がら運営を行っており、限られた財源のもとで活動の継続と充実に向けた工夫が求められている。今後は、県補助の増額要望や関係機関の補助金の 拡充も視野に入れる。合わせて、新規認定農業者の確保を推進するべく、就農希望者からの相談を広く受け入れる一元的な総合窓口について、各関 係機関と連携を図り体制づくりの検討を進めていく。また、同時に「八代農業塾」を開講し、子どもから、農業に興味のある人等に、農業にふれる機会を 提供することで、将来の担い手の確保、育成にも合わせて取り組む。

豪雨 会計区分 ·般会計 地籍調查事業 款項日コード(款-項-日) 05 Λ1 所属課名 地籍調査課

主要な施策の成果(決算審査における主要施策)

(単位:千円)

12

事務事業の概要

地籍調査事業は、国土調査法に基づく土地に関する基礎的な調査です。内容は、一筆ごとの土地の所有者、地番及び地目を調査し、高い精度で復元可能な測量により、 境界及び面積を確定し、その成果を取りまとめ、地籍簿と地籍図の写しを法務局に送付するものです。

国や県の補助金を活用し計画的・継続的に実施し、八代市全域の早期完了を目指します。

調査地区:(新規事業)3地区 (継続事業)9地区 (新規事業)井上町の一部 0.27km 東陽町南の一部 0.22km 泉町柿迫の一部 0.50km (継続事業)日置町・西 片町の各一部 0.27km 横手新町の全部・横手町の一部 0.35km 東陽町南の一部(2地区 1.54km、1.03km) 泉町椎原・久連子の一部 8.20km(リモセン) 泉町久 連子の一部 6.29km(リモセン) 泉町柿迫の一部(3地区 0.17km 0.14km 0.31km) 調査面積:19.29km 換算面積:5.91km 事業費:165,348千円(測量業務委託分)

△和c左在又答照	16年度予算額		左の財源			翌年度への繰越額	不用額
令和6年度予算額	卫和0千及次异银	国県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	笠年及べの繰越額	个用 額
270, 989	188, 020	129, 059	0	0	58, 961	72, 340	10, 629
		〈財源内訳〉					
【現年分】31,574 地籍調査推進委ステム 地籍調査支援測量 地籍調査事業測量 地籍成果支援 地籍成果支援 地籍成果支援 を が、 大子 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学	、保守委託 孫委託(調査1件) 孫委託 ムリース料等 - ドディスク、デジタル	レカメラ	224 1, 564 10, 175 4, 697 2, 432 184 12, 298		前助金(3/4)		8, 432
【繰越分】156,446 地籍調査推進委員立会 地籍調査事業測量業務		6件)	1, 273 155, 173	【繰越分】 〇県支出金 地籍調査事業補	前助金(3/4)		120, 627

今後の方向性 1 不要(廢止) 2 完了(終了) 3 民間実施 (該当欄を選択) 4 市による実施(規模縮小) ● 5 市による実施(現行どおり) 6 市による実施(規模拡充) 地籍調査事業は地方公共団体が実施すべき法令に基づく「自治事務」であることから、市による実施としている。加えて国土交通省所管の「防災・滅災、 国土強靭化のための5か年加速化対策」中、「防災・滅災の基盤となる地籍調査重点対策」が謳われていることから、本市でも現行どおり地籍調査事業 の推進を図ることとする。

今後の方向性の理由、 改革改善の取組等

また、本市の大半を占める山間地(東陽町・泉町)での地籍調査立会確認において、土地所有者が高齢化していることを鑑み、立会時の負担軽減を図 る目的から航測法(リモートセンシング)技術を導入・活用している。

豪雨			会計区分 一般:							
	事務事業名	森林経営管理事業	款項目コード(款-項-目)	05 — 02 — 02						
			所属課名	水産林発課						

主要な施策の成果(決算審査における主要施策)

(単位:千円)

林業事業者の経営安定と森林資源の適切な管理を両立するため、森林所有者自らが適切に経営・管理できない森林については、市町村が仲介役となり、森林所有者と林 業事業者をつなぐ新たな森林経営管理制度の下、森林所有者の経営意欲低下や所有者不明森林の増加など森林資源が適切に管理されていないといった課題を解決し 森林の経営管理を持続的に行い森林保全に努める。

森林環境譲与税を財源として、森林所有者への経営管理に関する意向調査を概ね15年程度で完了させる。また、林業に関わる人材育成・担い手の確保、木材利用の促 進や普及啓発等の森林整備及びその促進に関する事業を行う。

令和6年度予算額	令和6年度決算額		左の	財源		翌年度への繰越額	不用額		
卫和0千尺了异创	卫和0千及次异独	国県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	立 中 及 へ の 麻	个用領		
56, 487	43, 913	0	0	848	43, 065	0	12, 574		
	〈主要な施策の	概要>		〈財源内訳〉					
消耗品費 公用車等修繕(作業 企用車等修繕(作業 一見野野田崎山上 会用車等車乗車 会用車所有者意向調査・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	直修繕他(10件) 修繕(4件) 現況調査委託(坂本町、	東陽町、泉町)	438 207 148 4, 939 1, 458 11 14, 228 889				848		
補助金(木質バイオマ 補助金(森林作業道等 【森林環境譲与税基金	等基盤整備事業)		659 58 7, 911 1, 104 11, 863						
今後の方向性 (該当欄を選択)	1 不要(廃止) 4 市による実施(規	模縮小)	2 完了(終了) 5 市による実	施(現行どおり)	3 民間実施 ● 6 市による実施	施(規模拡充)			

今後の方向性の理由、 改革改善の取組等

森林所有者意向調査については、管理を市に委託したいという土地所有者もおり、令和6年度に3箇所の間伐を実施した。意向調査及び現地確認を行 い、間伐等の適正な施業及び管理を実施する必要がある。 森林作業道等基盤整備事業補助金については、豪雨等で被災した作業道を修繕し、森林整備が効率的に実施できるよう継続して補助を行う必要があ

「やつしろの山づくり推進協議会」運営補助金については、令和7年度から担い手対策・シカ被害対策・苗木対策のそれぞれの林業がかかえる課題ごと に事業を実施するとともに、ICT等最新技術を用いた効率的な林業経営が行えるよう、森林環境譲与税を活用し、効果的に進めていく。

有害鳥獸被害対策事業

会計区分			一般会詞	it	
款項目コード(款-項-目)	05	_	02	_	02
祈居理夕		7k	产量数	押	

主要な施策の成果(決算審査における主要施策)

(単位:千円)

事務事業の概要

有害鳥獣による農林産物の被害防止及び市民生活の安全を確保する。

八代市鳥獣被害防止計画に基づき、平成24年度から有害鳥獣の捕獲等を行う鳥獣被害対策実施隊を設置している。

実施隊員は、市の非常勤職員として位置付け、命令に基づいて公務として出動し、緊急時にも対応するなど効果的に活動している。今後も経過ウ的な捕獲数の向上を目 指し、農林産物の被害軽減を図る。

また、防護対策として電気柵等の設置費用の助成を行っている。

令和6年度予算額	令和6年度決算額		左の)財源		翌年度への繰越額	不用額	
7和0千尺了并领	7和0千及次并领	国県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	立十尺 70 林赵贺	作用領	
55, 126	41, 118	20, 720	0	0	20, 398	0	14, 008	
	〈主要な施策の	概要>		〈財源内訳〉				
鳥獸被害対策実施隊員	員報酬(160人)		2, 711	〇県支出金				
有害鳥獣緊急捕獲事業	《秦託料(4地区)		3, 128	特定鳥獣適正管	管理事業費補助金	(1/5)	1, 721	
有害鳥獣捕獲対策助原	戊金(ハンター保険102	2名、傭船料等)	1, 308	鳥獣被害防止緊	※急捕獲活動支援	事業補助金 (定額)	18, 170	
林産物被害対策事業ネ	甫助金(1件)		12	鳥獣保護及び管	管理並びに狩猟適う	E化に関する法律等	829	
有害鳥獸緊急捕獲事業	業補助金(シカ2, 511頭	33, 897	に基づく事務	(権限移譲交付金)				
消耗品費等			62					
				1				

今後の方向性

1 不要(廃止)

2 完了(終了)

3 民間実施

(該当欄を選択)

4 市による実施(規模縮小)

● 5 市による実施(現行どおり) 6 市による実施(規模拡充)

有害鳥獣による農林水産物への被害が増加しており、今後も被害防止のためには捕獲活動を円滑に実施する必要があるため、国や県の補助金を活

用しながら効果的に進めていく。

今後の方向性の理由、 改革改善の取組等

豪雨 事務事業名

森林整備事業

会計区分 ·般会計 款項日コード(款-項-日) 05 02 所属課名 水産林務課

主要な施策の成果(決算審査における主要施策)

(単位:千円)

02

事務事業の概要

森林環境保全整備事業:国、県の補助に上乗せして八代森林組合等の林業事業体が行う植林や下刈り等に助成をする。

作業道原材料支給:森林所有者で管理している作業道に対して、舗装用の生コンを支給する。

施設設備修繕:市で管理している森林整備のための作業道等の修繕を行う。

倒木被害防止事前伐採事業:九州電力送配電㈱が行う、台風や大雨等による倒木によって、停電や道路が通行不能になる恐れがある立木を事前に伐採する経費の半額 を負担する。

令和6年	度予算額	令和6年度決算額	=.5.1.1.4		財源	4	翌年度への繰越額	不用額
1-16-17	2 7 71 HX	In the LOCATAL INC	国県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源		1 713 820
	76, 167	73, 705	0	0	0	73, 705	0	2, 462
		〈主要な施策の	概要>			<	財源内訳>	
事業内容 作業道等旅	x:八代森林 R:造林事業 西設設備修綱 可止事前伐摂	林組合、熊本南部林業輩 €343.9ha ≜(7件) 採事業負担金		68, 595 3, 026 944 1, 140				
今後の方向	1. kt.	1 不要(廃止)		2 完了(終了)		3 民間実施		

(該当欄を選択) 4 市による実施(規模縮小) ● 5 市による実施(現行どおり)

6 市による実施(規模拡充) 伐採後の再造林が追い付いていないところも見られるので、引き続き嵩上げ補助を行い森林整備促進に繋げていく。

豪雨 会計区分 市内一円林道新設改良事業 事務事業名 款項日コード(款-項-日) 05 所属課名

主要な施策の成果(決算審査における主要施策)

水産林務課 (単位:千円)

Ω4

·般会計

Ω2

事務事業の概要

森林整備促進及び集落の生活道や非常時の迂回路機能強化のために林道舗装事業を行う。

緑資源幹線林道菊池人吉線開設に係る賦課金及び受益者負担金を支出する。

令和6年度予算額	令和6年度決算額		左の			翌年度への繰越額	不用額
卫和0千及了并领	TAU干及从异版	国県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	立十尺、07株烃段	1、
21, 282	21, 055	0	17, 300	0	3, 755	0	227
	〈主要な施策の	概要>	⟨財源内訳⟩				
林道渋利瀬高線舗装コ	C事外1件		13, 806	〇地方債			
林道渋利瀬高線外1路	線舗装工事測量設計業	務委託	3, 575	林道舗装事業			17, 300
緑資源幹線林道事業期	試課金(菊池人吉線)		203				
緑資源幹線林道事業補	輔助金(菊池人吉線)		2, 471				
協議会負担金(熊本県	県治山林道協会)		1, 000				

今後の方向性 1 不要(廃止) 3 民間実施 2 完了(終了)

(該当欄を選択) 4 市による実施(規模縮小) ● 5 市による実施(現行どおり) 6 市による実施(規模拡充) 森林整備の促進及び集落の生活道や非常時の迂回路機能強化のために随時舗装事業を行っていく必要がある。

今後の方向性の理由、 改革改善の取組等

豪雨 会計区分 ·般会計 事務事業名 道整備交付金事業 款項日コード(款-項-日) 05 02 04 所属課名 水産林務課

主要な施策の成果(決算審査における主要施策)

(単位:千円)

事務事業の概要

「「やつしろ・いつき」豊かな地域資源を活かした個性きらめく地域再生計画」に基づき林道深水線など5路線の改良、舗装事業を行うものである。

現行計画: 令和4年度~令和8年度、総事業費: 535,000千円(林道改良10路線、林道舗装4路線)

令和6年度予算額	令和6年度決算額		左の)財源		翌年度への繰越額	不用額		
节和0千度了异创	卫和0千及次异创	国県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	立 中 及 へ の 様 及 破	小用 領		
94, 811	94, 383	49, 961	41, 300	0	3, 122	0	428		
	〈主要な施策の	概要〉		〈財源内訳〉					
【通常分】65,574				【通常分】					
林道深水線舗装工事 を				〇県支出金					
木道木々子日光線舗装	卡工事測量設計業務委 訂	壬外1件	5, 848	道整備交付金	(31/100 • 34/100	• 51/100)	27, 184		
肖耗品費等			586	森林・林業・オ	マオ産業基盤整備3	交付金 (9/100)	5, 489		
				〇地方債					
				道整備交付金事	業		30, 000		
【繰越分】28,809				【繰越分】					
木道深水線改良工事外	├2件		28, 809	〇県支出金					
				道整備交付金	(51/100)		14, 694		
				森林・林業・オ	、 材産業基盤整備3	交付金 (9/100)	2. 594		
				〇地方債			,		
				道整備交付金事	- *		11, 300		

今後の方向性 1 不要(廃止) 3 民間実施 2 完了(終了) 4 市による実施(規模縮小) 6 市による実施(規模拡充) ● 5 市による実施(現行どおり) (該当欄を選択) 本年度は舗装事業(3路線)及び改良事業(5路線)を実施し、車両通行の安全性と森林施業の作業性の向上が図られた(県支出金49,961千円、地方債 41.300千円) 内閣府認定の地域再生計画に基づき、令和4年度から令和8年度までの5ヵ年計画の中で林道14路線の舗装及び改良を実施中であり、順調に進捗して

今後の方向性の理由、 改革改善の取組等

今回の事業で実施できていない林道の舗装及び改良についても、次期計画において確実に実施し、林業の振興に努める。

豪雨 会計区分 漁場環境保全事業 款項目コード(款-項-日) 05 水産林務課 所属課名

主要な施策の成果(決算審査における主要施策)

(単位:千円)

N2

·般会計

በ3

事務事業の概要

水産物の漁獲量の減少や魚価の低迷等により、本市の水産業を取り巻く環境は依然として厳しい状況にある。また、平成20年にピークだった本市のアサリ漁獲量は、頻発 する大雨や近年深刻化するアサリへの食害等の複合的な要因により大幅に減少している。

本事業では、水産振興アドバイザーによるアサリ資源回復のための漁場調査を行い、さらなる資源増大への対応策へつなげる。

協議会事業では、八代市沿岸漁業振興協議会が行う魚食普及の推進や作業省力化試験を、また八代市水産振興協議会が行う藻場造成・魚礁設置及び水産資源の維 持・回復に向けた放流事業等を支援する。

また、各漁協が実施する漁場清掃や航路標識設置に対する補助を行う。

令和6年度予算額	令和6年度決算額		左の	財源		翌年度への繰越額	不用額	
卫和0千及了异创	7110千及次异般	国県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	立 中 及 へ の 様 及 破	个用領	
13, 619	13, 571	0	0	0	13, 571	0	48	
	〈主要な施策の	概要>		〈財源内訳〉				
水産振興アドバイザ-	-業務委託		275					
協議会等負担金(6協	議会)		11, 820					
熊本県漁港漁場協会会	会則に基づく負担金		30					
航路標識設置事業補助	助金(2漁協)		837					
内水面清掃補助金(3	漁協)		609					

今後の方向性 1 不要(廃止) 2 完了(終了) 3 民間実施

(該当欄を選択) 4 市による実施(規模縮小) ● 5 市による実施(現行どおり) 6 市による実施(規模拡充)

今後の方向性の理由、 改革改善の取組等

アサリ漁獲量については、漁業者が主体となり行う食害対策や漁場環境整備の結果、平成23年以来の100トン超となった。しかしながら、ピーク時と比 較するとまだ低位で推移していることから、今後もアサリ資源増大に取組む漁業者に対する必要な支援及び漁場環境整備等により、さらなる資源回復につなげたい。また、県営覆砂事業では、これまでに本市管内で69.5haを施工しており、今後はさらに漁獲につながる実施場所や覆砂材の選定につい て、関係者間での協議を実施し、事業効果を高め、漁獲量の向上を図る。併せて、藻場造成による水産環境整備を図り、放流事業の効果を高め、水産 資源の維持・回復につなげる。

豪雨			会計区分	一般会計
	事務事業名	環境生態系保全事業	款項目コード(款-項-目)	05 — 03 — 02
			所属課名	水産林務課

主要な施策の成果(決算審査における主要施策)

(単位:千円)

事務事業の概要

熊本県水産多面的機能発揮対策協議会に対して、負担金(事業費の15%)を支出するとともに、鏡町アサリ活動組織、二見海岸の干潟を守る会、金剛資源管理保全振興 会、大八資源管理振興会が取り組む水産多面的機能発揮対策事業の活動を支援する。

国宗文山立 地力頂 てい他付足対派 一般対派	令和6年度予算額	令和6年度決算額		左の	財源		翌年度への繰越額	不用額		
〈主要な施策の概要〉 〈財源内訳〉 環境生態系保全対策事業負担金 4,134 活動組織(4組織) 4,134 ①鏡町アサリ活動組織 2,829 ②二見海岸の干潟を守る会 119 ③金剛資源管理保全振興会 210 210	节和0千尺了异创	卫和0千及次异敌	国県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	立 中 及 へ の 麻	个用领		
環境生態系保全対策事業負担金 活動組織 (4組織) 4,134 ①鏡町アサリ活動組織 2,829 ②二見海岸の干潟を守る会 119 ③金剛資源管理保全振興会 210	4, 662	4, 134	0	0	0	4, 134	0	52		
活動組織 (4組織) 4,134 ①鏡町アサリ活動組織 2,829 ②二見海岸の干潟を守る会 119 ③金剛資源管理保全振興会 210		〈主要な施策の	概要〉		〈財源内訳〉					
②二見海岸の干潟を守る会 119 ③金剛資源管理保全振興会 210	活動組織(4組織)			4, 134						
(4)大八資源官理振興会 9/0	②二見海岸の干潟 ③金剛資源管理保全	を守る会 119 全振興会 210								
	4)大八貨源官埋振り	東会 9/0								

1 不要(廃止) 今後の方向性 2 完了(終了) 3 民間実施

(該当欄を選択)

4 市による実施(規模縮小) ● 5 市による実施(現行どおり) 6 市による実施(規模拡充) 活動組織による干潟等の保全の取組みの結果、令和6年度における本市管内のアサリ漁獲量は109トンと、前年度に比べて約3倍増加した。資源増の 主な要因としては、漁場管理を徹底し食害対策や密度調整等を行った結果であると考えられる。しかしながら、重労働作業や価格面での課題もあるた 今後の方向性の理由、 改革改善の取組等 め、これらの改善も併せて進めることで、今後も漁業者の所得増に向けて支援を継続する。

栽培漁業振興事業

会計区分	一般会計						
款項目コード(款-項-目)	05	— 03 —	02				
所屋課名	水产林忞浬						

主要な施策の成果(決算審査における主要施策)

(単位:千円)

事務事業の概要

継続的な水産資源の確保を目的として、つくり育てる栽培漁業を推進するため、稚魚及び稚エビ等(ヒラメ、ガザミ、ウナギ、クルマエビ等)の計画的な放流及び八代海沿岸 部の関係漁協及び市町による共同放流事業を推進するとともに、アサリ保護用網の設置によりアサリ資源の回復・増大を図る。

八代海エビ類共同放流協議会(放流実績種:クルマエビ、クマエビ)

熊本県栽培漁業地域展開協議会(放流実績種:マダイ、ヒラメ、ガザミ)

内水面においては、内水面漁協が実施する種苗放流事業に対し補助を行う。

今和6年在 圣管苑	令和6年度予算額 令和6年度決算額					翌年度への繰越額	不用額		
卫和0年及了昇积	卫和0千及次昇報	国県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	笠中及への繰越額	个用額		
12, 45	12, 203	0	0	0	12, 203	0	254		
	〈主要な施策の	概要〉		<財源内訳>					
放流用稚魚購入									
ヒラメ (87,500尾			3, 465						
タイワンガザミ	(159,091尾)		700						
ウナギ (34kg)	(45)		297						
生残試験用アサリアの日間は日		107							
アザリ 甘貝 場垣が	試験用被覆網(150枚)		1, 434						
熊本県栽培漁業地域	(展開位議会負担全		980						
八代海エビ類共同が		2, 597							
7 (10/4 — C X / 1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1	7/10/#工工與共同放派協議去員担並 2,099								
五家荘やまめ中間育	『成施設雨漏り修繕		26						
八代市内水面種苗別	八代市内水面種苗放流事業補助金(5漁協) 2,59								
南部内水面漁協									
球磨川漁協(アコ									
141 F141 F F F F F F F F F F F F F F F F	(ウナギ、フナ、ボラ) 6	5							
昭和漁協(フナ、									
	ウナギ、モクズガニ、	アマメ) 505	(45-)						
今後の方向性	1 不要(廃止)	14#64.1.	2 完了(終了)		3 民間実施	. 			
(該当欄を選択)	4 市による実施(規	!	● 5 市による実力	他(現行とおり)	6 市による実施	他(規模孤允)			

今後の方向性の理由、 改革改善の取組等

4 市による実施(規模縮小) ● 5 市による実施(現行どおり) 6 市による実施(規模拡充) 水産業を取り巻く状況が厳しい中、水産資源の回復・増大を図るため、つくり育てる栽培漁業の重要性は今後益々高まると考えられる。放流種苗の選定については、関係漁協等と協議しながら、漁獲に結びつく放流効果の高い種苗または、漁家経営の安定につながる種苗へと順次切り替えていく。また、放流事業と併せて、その効果を高めるために魚礁設置を進めることで、魚類の餌場や産卵場を創造し、資源量増大を図る等、今後も継続的に事業

を実施する。

豪雨

地域水産業活性化支援事業

会計区分 ·般会計 款項日コード(款-項-日) 05 0.3 02 所属課名 水産林務課

主要な施策の成果(決算審査における主要施策)

(単位:千円)

事務事業の概要

事務事業名

水産業者等が行う八代産水産物の品質・生産性向上や高付加価値化、6次産業化等による水産業の振興策に対して補助を行う。 併せて、漁業者が抱える漁業課題の解決や新規漁業の導入を図ることにより、就業しやすい環境整備や所得向上による担い手確保を目指す。

令和6年度予算額	令和6年度決算額		左の	財源		翌年度への繰越額	不用額
7和0千尺了并创	7110十及人异俄	国県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	立十尺、の味炒飲	17月 領
500	500	0	0	0	500	0	0
	〈主要な施策の	概要〉		〈財源内訳〉			
地域水産業活性化支持	震事業補助金(1件)						

八代漁協 (水産物直売ブース整備)

500

4	後の方向性	1 不要(廃止)	2 完了(終了)	3 民間実施					
(該当欄を選択)	4 市による実施(規模縮小)	● 5 市による実施(現行どおり)	6 市による実施(規模拡充)					
		水産物の漁獲量の減少や魚価の低迷等によ	はり、本市の水産業を取り巻く環境は依然とし	て厳しい状況にある。そのような中、八代産水産物の品質・生					
	産性向上や高付加価値化、6次産業化等に取組むことにより、漁家所得の向上を図るため、今後も継続的な支援を実施する。								

アサリ漁業V字回復事業

·般会計 会計区分 款項日コード(款-項-日) 05 በ3 **N2** 所属課名 水産林務課

主要な施策の成果(決算審査における主要施策)

(単位:千円)

事務事業の概要

平成20年の1,200トンをピークに、資源量が激減している本市水産業の要であるアサリを対象に、「八代うまかアサリ研究会」が、デジタル技術を活用し「漁獲量の拡大」と 「漁業収益の向上」を図る取組みを行う3カ年プロジェクト。2年目である令和6年度は、前年度に策定した実証事業計画に基づき各実証試験を行う。

①漁業収益の確保プロジェクト実証試験

垂下式育成の実証試験及び適地診断に向けた環境データ収集、産地別アサリの特性の明確化、八代産アサリのプロモーション、ブランド化に向けた試験販売 ②漁獲量の拡大プロジェクト実証試験

漁獲作業の省力化実証

ı	令和6年度予算額	令和6年度決算額		左の	財源		翌年度への繰越額	不用額	
	节和0年度了异般 节和0年度次异般		国県支出金地方債		その他特定財源 一般財源		立 中 及 へ の 禄 と 敬	1、用領	
	15, 290	15, 186	7, 593	0	0	7, 593	0	104	
		〈主要な施策の	概要〉		〈財源内訳〉				
	協議会等負担金 八代うまかアサリ研究会負担金 15, 186				〇国庫支出金 デジタル田園者	『市国家構想交付会	金(地方創生推進)(1/2)	7, 593	

今後の方向性

1 不要(廃止)

2 完了(終了)

3 民間実施

(該当欄を選択)

4 市による実施(規模縮小)

● 5 市による実施(現行どおり)

6 市による実施(規模拡充)

今後の方向性の理由、 改革改善の取組等

今年度の実証試験の結果から得られた八代産アサリの強みや特徴等、他産地と比較した際の優位性を全面にPRし、さらなるプロモーションやブランド 化を進めることで、消費者から選ばれる八代産アサリの地位を確立するため、事業最終年度となる令和7年度には、前年度の課題を踏まえたさらなる実 証試験を進めることで漁業収益の向上を図る。併せて、漁業省力化による漁獲量の拡大を目指す。また、取組みの横展開と漁協及び漁業者等によるス ムーズな自走化を図る。

豪雨

豪

林道施設災害復旧事業

会計区分 ·般会計 款項日コード(款-項-日) 10 01 01 所属課名 水産林務課

主要な施策の成果(決算審査における主要施策)

(単位:千円)

事務事業の概要

【豪雨災害分】令和2年7月の梅雨前線豪雨・【通常分】令和4年台風14号・令和6年7月の梅雨前線豪雨・令和6年9月の豪雨により被災した林道施設の災害復旧を行うも

事業期間:災害発生時に随時実施

事務事業名

	令和6年度予算額	令和6年度決算額		左の	財源		翌年度への繰越額	不用額		
	7和0千尺了并领	T110十及次异银	国県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	立千尺、07條陸領	小用領		
	897, 606	429, 966	387, 078	26, 100	0	16, 788	428, 378	39, 262		
		〈主要な施策の	概要〉		〈財源内訳〉					
	【通常分】190,407				【通常分】					
	【現年分】112,307				【現年分】					
	修繕料(9件)、測	量設計委託(4件)		27, 448	県支出金 林道	施設災害復旧費補助	力金(9.31/10、9.91/10	85, 106		
	災害復旧工事(6件			84, 859		拖設災害復旧事業		18, 200		
	(繰越明許費) 125,	298			【繰越分】					
	【繰越分】78,100						助金(9.7/10、9.91/1			
	災害復旧工事(4件			78, 100		起設災害復旧事業		1, 500		
	【豪雨災害分】239,	559			【豪雨災害分】					
	【現年分】69,906				【現年分】					
	測量設計委託(4件			34, 851			助金(9.7/10、9.96/1	0) 61, 517 3, 100		
	災害復旧工事(10-	件)		34, 180						
	消耗品費等			875						
	(繰越明許費) 272,	095			県支出金 林道施設災害復旧費補助金 (9.7/10、9.96/10) 10					
		【繰越分】103,176				地方債 林道施設災害復旧事業 1,60				
	災害復旧工事 (7件) 103, 176									
	(事故繰越) 30,985				県支出金 林道施設災害復旧費補助金 (9.7/10)					
	【事故繰越分】66,4				地方債 林道施設災害復旧事業 1,7					
	災害復旧工事(4件	‡)		66, 477						
					県支出金 林道	道施設災害復旧費 額	甫助金(9.7/10)	382		
4	今後の方向性	1 不要(廃止)		2 完了(終了)		3 民間実施				

(該当欄を選択)

4 市による実施(規模縮小) ● 5 市による実施(現行どおり) 6 市による実施(規模拡充) 市道等の復旧が完了し、林道の復旧に着手できる箇所が増えてきたため、今後も着手可能な箇所から随時発注を行い、早期復旧に努める。

							A -1 -		40.4.71
豪雨		- Alla . An		= خال عالم طاه		ulle.	会計区		一般会計
	事務事	事 栗名		農業他記	没災害復旧事:	莱	款項目コード(非		01 — 02
			<u> </u>				所属課	名	農地整備課
			主	要な施策の成果	(決算審査における	5主要施策)			(単位:千円)
事	務事業の概要								
令:	和6年6月21日か	らの梅雨前線	豪雨において	、大量に堆積した頽	麓川(排水路)の土砲	り撤去等を行うもの。			
								_	_
	令和6年度予算	額 令和6:	年度決算額	国県支出金	左の 地方債	財源 その他特定財源	一般財源	翌年度への繰越額	不用額
H	15								0 100
	15,	000	14, 807	0	8, 100	0	6, 707		0 193
			主要な施策の	概要>			<	(財源内訳>	
	業施設災害復旧 麓川災害復旧修				14. 807	〇地方債 農業施設災害復	二口中来		8. 100
	鹿川火舌後旧 修	S褶(IIT)			14, 007	辰未肥改火吉18	5旧争未		0, 100
	·				4 - 4 - 7 - 1				
	その方向性 当欄を選択)		:要(廃止) iによる実施(規	描绘小)	● 2 完了(終了)		3 民間実施	佐(坦塔廿去)	
(武	日限で迭代				5 巾による美. (、麓川(排水路)に	施(現行どおり) 推積した土砂の撤去	6 市による実 等が完了した。	他(况悮拟允)	
		13-1HO-0712	・ロッ・フッ・中で	11 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	正良のにエルグの扱力			
	方向性の理由、								
改革	改善の取組等								

会計区分 豪雨 久連子財産区特別会計 久連子財産区一般管理事業 事務事業名 款項目コード(款-項-目) 01 01 01 所属課名 水産林務課 主要な施策の成果(決算審査における主要施策) (単位:千円) 事務事業の概要 久連子財産区所有財産管理のため管理会を開催し、財産の適正な管理運営を行う。 左の財源 令和6年度予算額 翌年度への繰越額 令和6年度決算額 不用額 国県支出金 地方債 繰入金 事業収入 151 89 0 0 83 0 62 〈主要な施策の概要〉 〈財源内訳〉 久連子財産区一般管理事業 〇その他特定財源 財産区管理会開催時委員報酬 (3人) 18 久連子財産区基金繰入金 83 施設電気料(民舞伝習館、防犯灯14基) 28 施設設備修繕(防犯灯1基) 37 積立金

今後の方向性 (該当欄を選択)

1 不要(廃止)
2 完了(終了)
3 民間実施
4 市による実施(規模縮小)

5 市による実施(現行どおり)
6 市による実施(規模拡充)

財産区有林のうち、分収契約を結んでいる林分については、契約相手方の森林管理署と今後の伐採計画等について協議を行い適切に管理していく必要がある。
要がある。

今後の方向性の理由、
改革改善の取組等

表兩						会計区	分 椎原具	材産区特別会計
	事務事業:	名	椎原財産	区一般管理事	業	款項目コード(非		01 — 01
						所属課	名	k産林務課
		主	要な施策の成果	(決算審査における	5主要施策)			(単位:千円)
事務	§事業の概要							
椎原	財産区所有財産管	・理のため管理会を開催	し、財産の適正な管	管理運営を行う。				
	100万克又安好	人和人生中生物性		左の	財源		羽左左, 0 但 ##	7 m##
Ť	3和6年度予算額	令和6年度決算額	国県支出金	地方債	繰入金	事業収入	翌年度への繰越額	不用額
	133	76	0	0	68	8	0	57
		〈主要な施策の	概要〉			<	財源内訳>	
椎原	財産区一般管理事	業			〇その他特定財源	Į.		
	才產区管理会開催 時			29	椎原財産区基金	全繰入金		68
	を設電気料(防犯火	T17基)		39				
積	責立金			8				
					i e			

1 不要(廃止) 2 完了(終了) 3 民間実施 4 市による実施(規模縮小) ● 5 市による実施(現行どおり) 6 市による実施(規模拡充) 財産区有林のうち、分収契約を結んでいる林分については、契約相手方の森林管理署等と今後の伐採計画等について協議を行い適切に管理していく必要がある。

今後の方向性 (該当欄を選択)